

岐阜県感染症発生動向調査年報

2019年（令和元年）

岐阜県保健環境研究所

目次

I	感染症発生動向調査事業の概要	1
II	感染症発生動向調査結果	
1	全数把握対象感染症	3
(1)	一類、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症	3
(2)	二類感染症	3
(3)	三類感染症	4
(4)	四類感染症	6
(5)	五類感染症	8
2	定点把握対象の五類感染症	14
(1)	インフルエンザ定点	14
(2)	小児科定点	16
(3)	眼科定点	26
(4)	基幹定点	28
(5)	性感染症定点	35
3	感染症法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症	39
	集計表	40

I 感染症発生動向調査事業の概要

感染症発生動向調査は、平成11年4月に施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において感染症対策の主要な柱の一つとして位置づけられた。調査内容は、感染症の発生情報の把握・分析と結果の情報提供・公開を行うことであり、岐阜県においては国の定める「感染症発生動向調査事業実施要綱」に基づき「岐阜県感染症発生動向調査事業実施要領」を定め、保健環境研究所内に岐阜県感染症情報センター（岐阜県の基幹地方感染症情報センター）を設置し、医療機関協力の下で、本事業を実施している。

1 調査対象疾患

本事業では、患者を診断したすべての医師が届出を行う全数把握対象感染症 89 疾患（一～四類感染症、五類感染症の一部、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症）と、指定届出機関が報告を行う定点把握対象感染症 26 疾患（五類感染症の一部及び感染症法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症）を対象としている（2019年12月31日時点）。

2 指定届出機関

定点把握対象感染症の報告を行う指定届出機関（患者定点）は、インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、基幹定点、性感染症定点及び疑似症定点からなり、各定点の指定数は下表のとおりである。また、患者定点の中から病原体定点を選定し、病原体検索のため検体の提供を受けている。

表 指定届出機関の指定数（2019年12月31日時点）
（数字は患者定点の数、カッコ内の数字は病原体定点の数）

定点種別	全県	保健所							
		岐阜市	岐阜	西濃	関	可茂	東濃	恵那	飛騨
インフルエンザ定点	87 (10)	14 (2)	17 (1)	15 (2)	8 (1)	8 (1)	8 (1)	7 (1)	10 (1)
小児科定点	53 (6)	9 (1)	10 (1)	9 (1)	5 (1)	5	5 (1)	4	6 (1)
眼科定点	11 (2)	2	2 (1)	3	-	1	1	1 (1)	1
性感染症定点	15	3	2	3	1	2	2	1	1
疑似症定点	12	4	2	1	1	2	1	0	1

定点種別	全県	圏域				
		岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨
基幹定点	5 (5)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)

3 患者情報の収集

患者情報は、感染症発生動向調査システムにより、全数把握対象感染症は診断後直ちに（侵襲性髄膜炎菌、風しん及び麻しんを除く五類感染症は7日以内）、定点把握対象感染症は週または月単位で、医療機関から保健所を通じて岐阜県感染症情報センターで収集している。また、収集した情報は、中央感染症情報センター（国立感染症研究所）に報告している。

4 病原体情報の収集

病原体定点から提供される検体や、医療機関等で患者から分離された病原体を収集し、岐阜県保健環境研究所または岐阜市衛生試験所において検査を実施し県内の病原体情報を収集している。収集した情報は、感染症発生動向調査システムにより中央感染症情報センターに報告している。

5 情報の解析・発信

収集した情報は週単位で集計・解析し、「岐阜県感染症発生動向調査週報」としてホームページに公開し、県内の医療機関、保健所、教育委員会等の関係機関に提供している。また、保育所や高齢者施設等の福祉施設や県民に対して、感染症の発生動向や予防方法をわかりやすく解説した「ぎふ感染症かわら版」を発行し、医療関係者に対しては、より専門的に「医療関係者向け疫学情報」を適時 HP に掲載している。

さらに、学識経験者、医療関係者、行政関係機関職員等で構成される岐阜県感染症予防対策協議会 感染症発生動向調査部会を月 1 回開催し、収集した情報の解析・評価を行うとともに情報共有を図っている。

(参考) 保健所区分



医療圏	保健所	市町村
岐阜	岐阜市	岐阜市
	岐阜	羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町、北方町
西濃	西濃	大垣市、海津市、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町
中濃	関	関市、美濃市、郡上市
	可茂	美濃加茂市、可児市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町
東濃	東濃	多治見市、瑞浪市、土岐市
	恵那	恵那市、中津川市
飛騨	飛騨	高山市、飛騨市、下呂市、白川村

II 感染症発生動向調査結果

2019年に感染症発生動向調査において得られた患者情報および病原体情報は次のとおりであった。

なお、全数把握対象感染症および週報告対象の定点把握対象感染症については、2019年第1週～第52週（2019年1月1日～2019年12月31日）に、月報告対象の定点把握対象感染症については、2019年1月1日～12月31日に診断された患者を集計対象とした。

また、病原体情報は、届出症例の検体について岐阜県保健環境研究所または岐阜市衛生試験所において実施した検査結果を示し、届出症例以外の疑い症例等を含む病原体検査実施状況については、巻末の集計表に示した。

1 全数把握対象感染症

(1) 一類、新型インフルエンザ等感染症^{※1}及び指定感染症^{※2}

一類感染症の報告はなかった。

※1及び2 該当なし

(2) 二類感染症

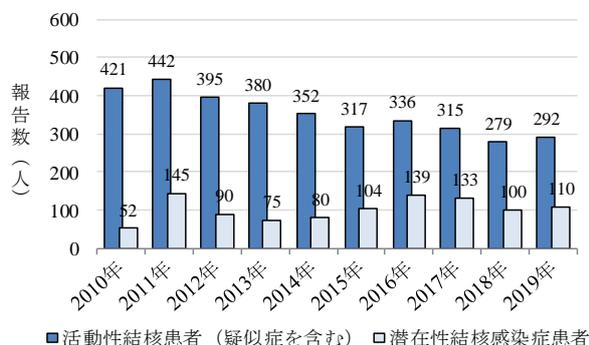
結核 402 例の報告があった。

a. 結核

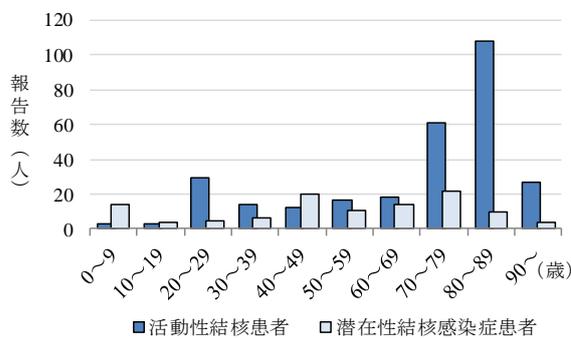
患者情報

2019年の患者報告数は402例で、患者（活動性結核）が292例、無症状病原体保有者（潜在性結核感染症）が110例であった。活動性結核、潜在性結核感染症ともに報告数は前年（活動性結核279例、潜在性結核感染症100例）より増加した。活動性結核の病型は、肺結核（肺外結核の併発を含む。）が219例（75.3%）、肺外結核が72例（24.7%）であった。

活動性結核患者の年齢階級は高齢者が大半であり、70歳以上で全体の67.1%、80歳以上で全体の46.2%を占めた。また、20～30歳代の患者の約7割が外国出生者であった（結核登録者データより）。



年別患者報告数



年齢階級別患者報告数（2019年）

(3) 三類感染症

腸管出血性大腸菌感染症 102 例の報告があった。

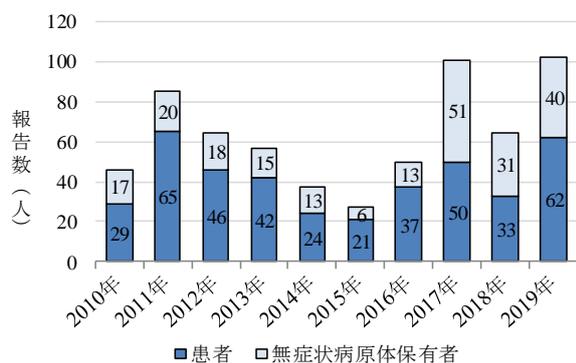
a. 腸管出血性大腸菌感染症

患者情報

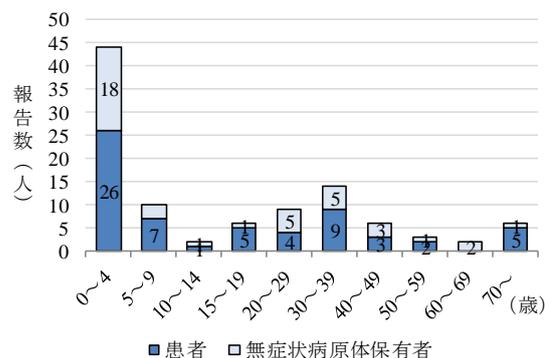
2019 年の患者報告数は 102 例であり、過去 10 年間では最も多かった。102 例中、患者が 62 例、無症状病原体保有者が 40 例であった。

血清型別では、O157 が 38 例（37.3%）と多かったが、食品業務従事者等の検便を含め主要血清型以外にも様々な血清型が報告された。

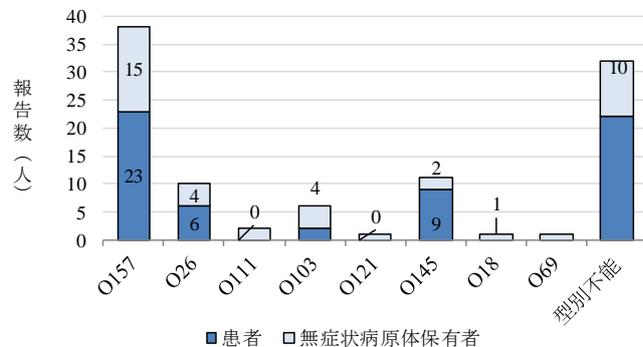
年齢階級別では、小児が 44 例（43.1%）と他の年齢層に比べ患者が多数報告された。



年別患者報告数



年齢階級別患者報告数（2019年）



血清型別患者報告数（2019年）

病原体情報

届出患者 99 例から分離された菌株の同定検査の結果は下表のとおりであった。

表 腸管出血性大腸菌感染症患者から分離された菌株の同定結果

◆ 腸管出血性大腸菌感染症患者から分離された菌株の同定結果

菌種、血清型等	株数	菌種、血清型等	株数
<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT1&2	22	<i>Escherichia coli</i> O103:H2 VT1	1
<i>Escherichia coli</i> O157:H- VT1&2	2	<i>Escherichia coli</i> O103:H11 VT1	2
<i>Escherichia coli</i> O157:HUT VT1&2	2	<i>Escherichia coli</i> O103:H- VT1	1
<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT2	9	<i>Escherichia coli</i> O103:HUT VT1	1
<i>Escherichia coli</i> O145:H- VT2	9	<i>Escherichia coli</i> O26:H11 VT1	10
<i>Escherichia coli</i> O145:HUT VT2	1	<i>Escherichia coli</i> O69:H11 VT1	1
<i>Escherichia coli</i> O145:H-VT不検出	1	<i>Escherichia coli</i> O18:HNT VT不検出	1
<i>Escherichia coli</i> O111:H- VT1&2	2	<i>Escherichia coli</i> OUT:H2 VT2	32
<i>Escherichia coli</i> O121:H19 VT2	1	<i>Escherichia coli</i> OUT:H- VT1	1
小計	49	小計	50
		株数総計	99

(4) 四類感染症

E型肝炎7例、A型肝炎10例、つつが虫病12例、デング熱6例、レジオネラ症55例の報告があった。

a. E型肝炎・A型肝炎

患者情報

2019年の患者報告数はE型肝炎7例、A型肝炎10例であり、前年（E型肝炎1例、A型肝炎4例）に比べ大幅に増加した。E型肝炎は、7例がすべて国内感染例（20歳代女性1例、40歳代男性1例、50歳代男性3例、70歳代男性1例、80歳代男性1例）であった。A型肝炎は、10例中7例が国内感染例（20歳代男性1例、30歳代男性1例、60歳代男性1例女性2例、70歳代男性1例、80歳代女性1例、いずれも散発例）、1例が国外感染例（70歳代男性、推定感染地域：パキスタン）であった。

病原体情報

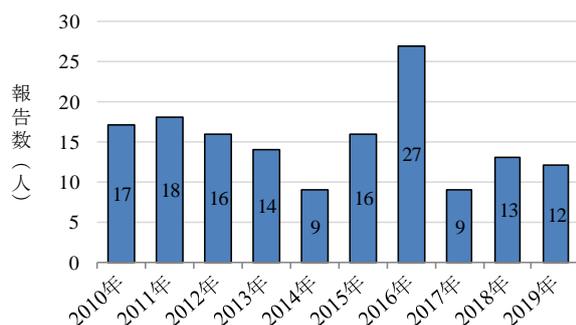
E型肝炎の届出患者6例の検体を検査した結果、4例からE型肝炎ウイルス遺伝子が検出され、遺伝子型は3f、2例は遺伝子型別不明であった。A型肝炎の届出患者7例の検体を検査した結果、6例からA型肝炎ウイルス遺伝子が検出され、遺伝子型は6例ともにIA、1例は遺伝子型別不明であった。

b. つつが虫病

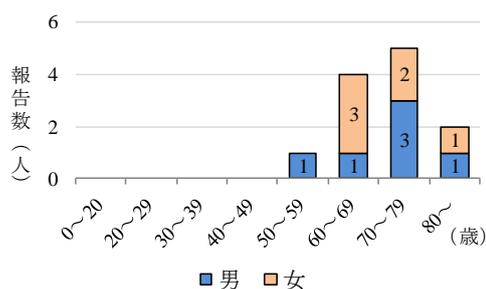
患者情報

2019年の患者報告数は12例で、過去10年間では比較的少なかった。患者の報告月は、8月1例、11月2例、12月9例で、例年と同様に秋～初冬の感染例が多かった。男性女性各6例で、50歳代の男性1例以外がすべて60歳以上であり、例年と同様に高齢者に偏っていた。

保健所別では、関保健所が5例と多く、他は岐阜保健所が3例、可茂保健所が2例、岐阜市保健所と西濃保健所が各1例であった。推定感染地域は美濃市が3例、岐阜市、羽島市、本巣市、揖斐川町、関市、郡上市、美濃加茂市、加茂郡八百津町が各1例、不明が1例であった。



年別患者報告数



年齢階級別患者報告数（2019年）

病原体情報

つつが虫病の届出患者1例の検体を検査した結果、つつが虫病リケッチア遺伝子は不検出であった。

c. デング熱

患者情報

2019年の患者報告数は6例で、前年（5例）と同等であった。

デング熱の病型は6例ともデング熱であり（デング出血熱なし）、推定感染地域はベトナム3例、フィリピンが2例、タイ1例であった。

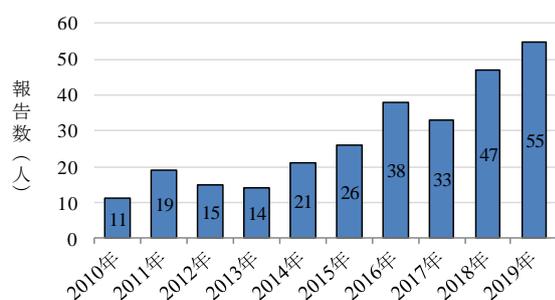
病原体情報

デング熱の届出患者6例の検体を検査した結果、3例からデングウイルス遺伝子が検出され、ウイルスの血清型は1型（推定感染地域：タイ）、2型（推定感染地域：フィリピン）、3型（推定感染地域：フィリピン）が各1例であった。

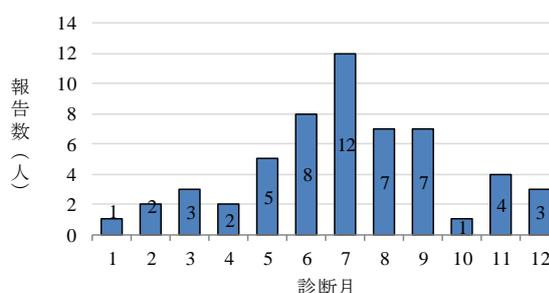
d. レジオネラ症

患者情報

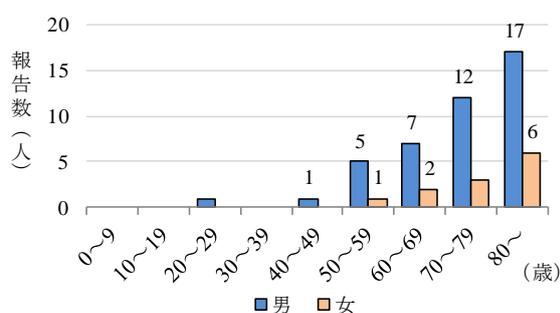
2019年の患者報告数は55例で、報告が始まった1999年以降最多であった。年間を通じて患者の報告があったが、近年の傾向と同様に6～7月に増加した。患者の病型は肺炎型が54例、ポンティアック熱型が1例であった。性別は、例年男性が約9割を占めていたが、今年は男性が43例（78.2%）、女性が12例（21.8%）で、年代は例年どおり60～70歳代が男女ともに多かった。



年別患者報告数



月別患者報告数（2019年）



年齢階級別患者報告数（2019年）

病原体情報

届出患者4例の検体（または分離菌株）の検査の結果、2例から *Legionella pneumophila* 血清群1が検出された。

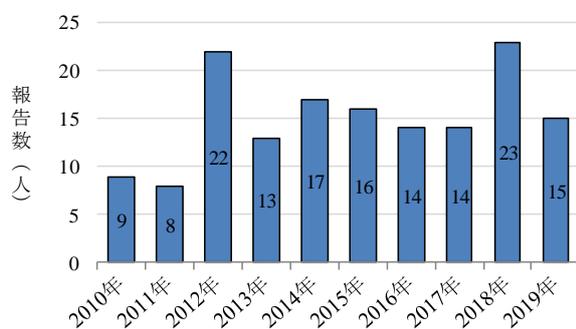
(5) 五類感染症

アメーバ赤痢 15 例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 23 例、急性弛緩性麻痺 1 例、急性脳炎 5 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 19 例、後天性免疫不全症候群 14 例、ジアルジア症 3 例、侵襲性インフルエンザ菌感染症 7 例、侵襲性髄膜炎菌感染症 2 例、侵襲性肺炎球菌感染症 59 例、水痘（入院例に限る）10 例、梅毒 77 例、播種性クリプトコックス症 1 例、破傷風 5 例、百日咳 194 例、風しん 3 例、麻しん 8 例の報告があった。

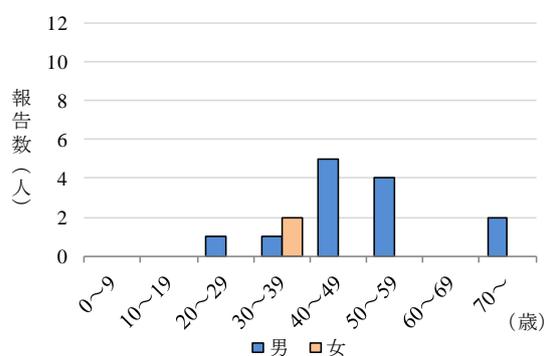
a. アメーバ赤痢

患者情報

2019 年の患者報告数は 15 例で、前年の 23 例から減少した。患者の病型は、腸管アメーバ症が 14 例、腸管及び腸管外アメーバ症が 1 例であった。8 割以上が男性で、40-50 歳代が多かった。推定感染地は、国内 11 例、国外 3 例（インドネシア、ミャンマー、中国）、国内外不明 1 例であった。



年別患者報告数

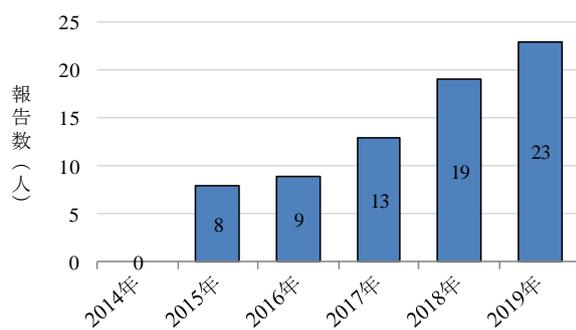


年齢階級別患者報告数（2019年）

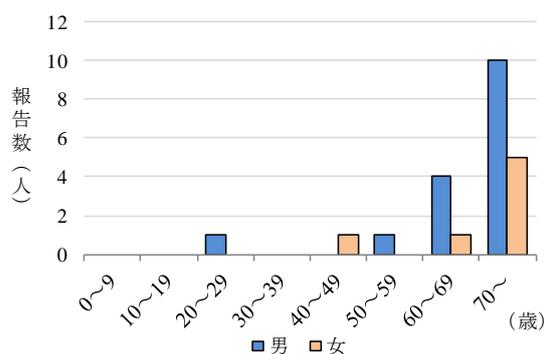
b. カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

患者情報

2019 年の患者報告数は前年と同数の 23 例で、報告の始まった 2014 年以降最多であった。患者の年齢階級は、60 歳代以上が 87% を占めており、その中でも 70 歳代が患者全体の半数であった。



年別患者報告数



年齢階級別患者報告数（2019年）

病原体情報

届出患者 23 例の分離菌株の同定検査等の結果は下表のとおりであった。

表 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症患者から分離された菌株の同定結果等

◆ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症患者から分離された菌株の同定結果等

菌種名	カルバペネマーゼ産生	株数
<i>Enterobacter cloacae</i>	IMP-1型メタロ-β-ラクタマーゼ産生性	1
<i>Enterobacter asburiae</i>	IMP-1型メタロ-β-ラクタマーゼ産生性	2
<i>Citrobacter freundii</i>	IMP-1型メタロ-β-ラクタマーゼ産生性	1
<i>Escherichia coli</i>	NDM型メタロ-β-ラクタマーゼ産生性	1
<i>Enterobacter cloacae</i>	IMI型カルバペネマーゼ産生性	2
<i>Enterobacter cloacae</i>	カルバペネマーゼ産生性(タイプ不明)	1
<i>Enterobacter cloacae</i>	-	2
<i>Enterobacter asburiae</i>	-	1
<i>Klebsiella aerogenes</i>	-	7
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	-	2
<i>Escherichia coli</i>	-	1
<i>Serratia marcescens</i>	-	1
<i>Morganella morganii</i>	-	1

c. 急性弛緩性麻痺

患者情報

2018年5月1日から新たに5類感染症となり、2019年の患者報告数は1例で、前年(13例)から激減した。患者は14歳女性で、報告月は7月であった。

病原体情報

届出患者1例の検体の検査の結果、ウイルスが検出された。検出病原体はアデノウイルス5型であった。

d. 急性脳炎

患者情報

2019年の患者報告数は5例で、前年の8例より減少した。患者の年齢階級は、0歳1例、5～9歳3例、40歳代1例であった。報告月は、1月1例、2月1例、11月2例、12月1例であった。届出時点の情報として、1月報告の1例はアデノウイルス、2月、11月、12月の3例はインフルエンザウイルスA型、11月のもう1例はヘルペスウイルスによるものとの記載があった。

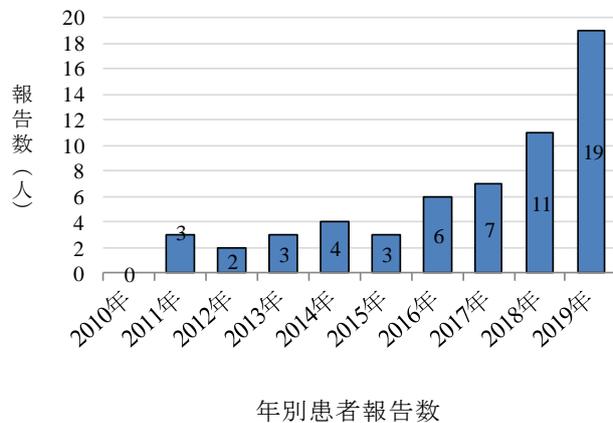
病原体情報

届出患者3例の検体の検査の結果、2例からウイルスが検出された。アデノウイルスが1例(1月報告例)、インフルエンザウイルスA型が1例(11月報告例)であった。

e. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

患者情報

2019年の患者報告数は19例で、報告が始まった1999年以降最多であった。19例中6例が届出時に死亡していた。溶血性レンサ球菌の血清群は、A群が9例、B群が1例、C群が1例、G群が6例であった。患者の年齢階級は、70歳代と80歳代が各6例と患者の約6割を占めた。



病原体情報

届出患者8例の分離菌株の同定検査等の結果は下表のとおりであった。

表 劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者から分離された菌株の同定結果等

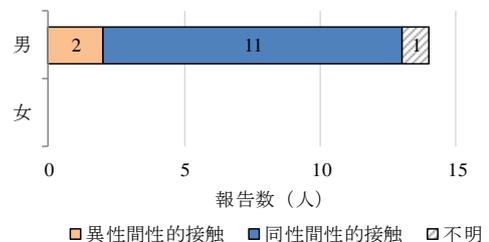
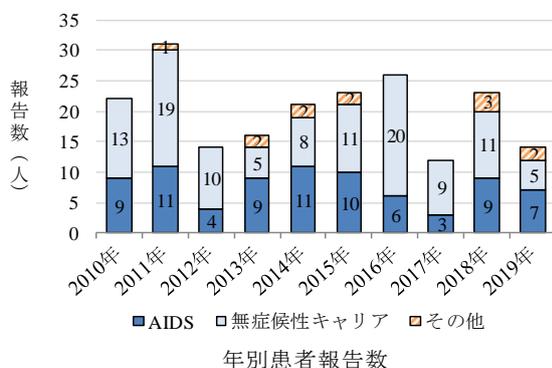
菌種名	株数
<i>Streptococcus pyogenes</i> T1型	4
<i>Streptococcus pyogenes</i> T12型	1
<i>Streptococcus dysgalactiae subsp. equisimilis</i>	3

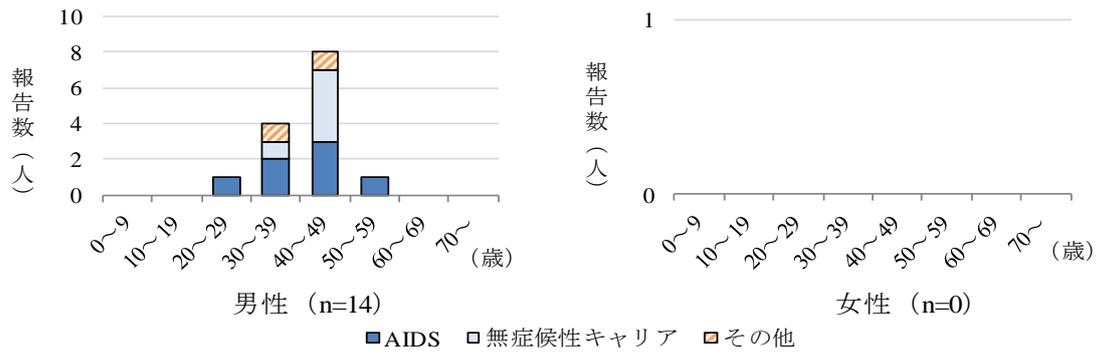
f. 後天性免疫不全症候群

患者情報

2019年の患者報告数は14例で、昨年（23例）より減少した。

病型別では、AIDSが7例、無症候性キャリアが5例、その他が2例であった。患者14例すべてが男性（日本国籍13例、外国籍1例、）であった。男性は40歳代が最も多かったが、20歳代のAIDSも1例報告された。感染経路は、同性間性的接触が11例、異性間性的接触が2例、不明が1例であった。



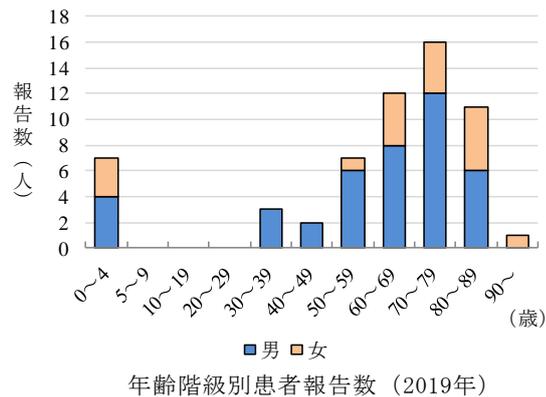
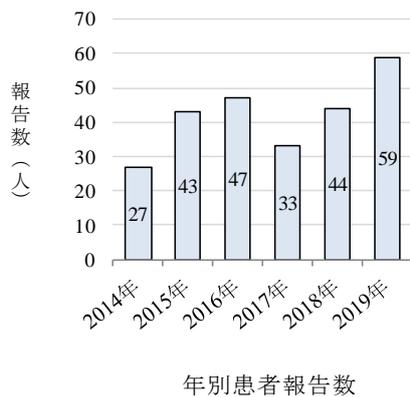


性別・年齢階級別・病別患者報告数 (2019年)

g. 侵襲性肺炎球菌感染症

患者情報

2019年の患者報告数は59例で、最も多かった2016年を上回った。男性41例、女性18例と男性が多く、年齢は60歳以上が全体の67.8%を占めた。10歳未満の7例のワクチン接種歴は、4回接種が5例、3回接種が2例であった。65歳以上の36例のワクチン接種歴は、1回接種が2例、接種歴なしが13例、不明が21例であった。

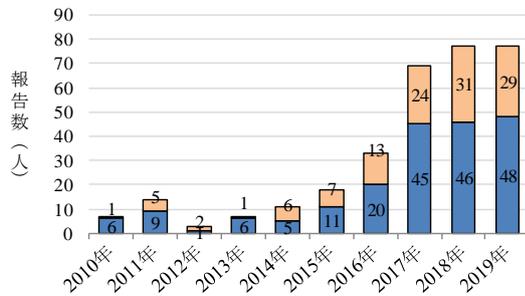


h. 梅毒

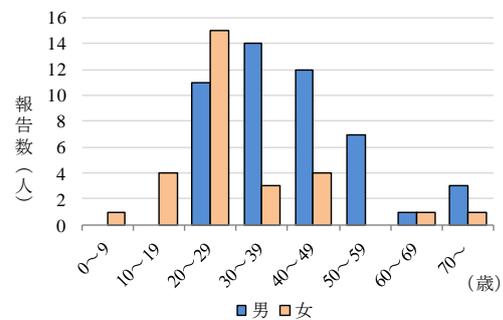
患者情報

2019年の患者報告数は77例で、前年と同数で、報告の始まった1999年以降最多であった。

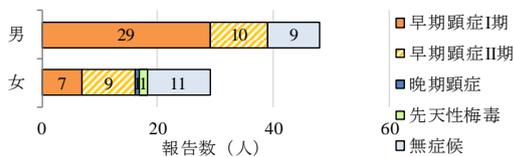
男性48例、女性29例で、前年と比べて男性の割合が増加した。病型別では、比較的最近の感染を示す早期顕症梅毒（Ⅰ期およびⅡ期）が男性の81.3%、女性の55.2%を占めた。感染経路も前年同様に、男女とも異性間性的接触によるものが多かった。



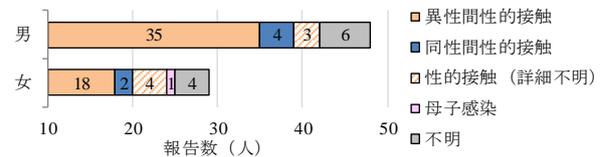
年別・性別患者報告数



性別・年齢階級別患者報告数(2019年)



病型別患者報告数(2019年)



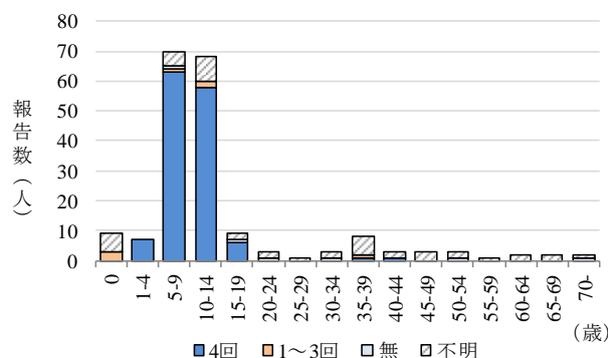
感染経路別患者報告数(2019年)

i. 百日咳

患者情報

2018年1月1日から定点把握対象から全数把握対象に変更となった。2019年の患者報告数は前年の92例から大幅に増加し、194例であった。

年齢階級別では、5~9歳が70例、10~14歳が68例と多く、5~14歳で全体の71.1%を占めた。また、0歳の患者は9例報告された。ワクチン接種歴は、現行の定期接種の規定回数である4回接種が136例(70.1%)、1~3回接種が7例(3.6%)、接種歴なしが6例(3.1%)、不明が45例(23.2%)であった。5~14歳の患者に限定すると、87.7%に4回の接種歴があった。

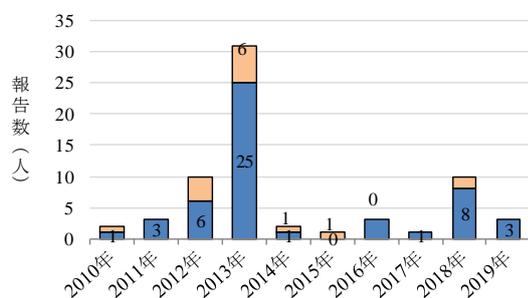


年齢階級別・ワクチン接種歴別患者報告数(2019年)

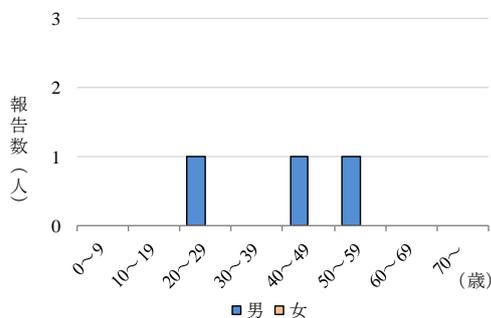
j. 風しん

患者情報

2019年は3例の報告があり、前年の全国の流行から例年程度に減少した。すべて検査診断例で、男性3例であった。ワクチン接種歴は、すべて不明であった。



年別・性別患者報告数



性別・年齢階級別患者報告数 (2019年)

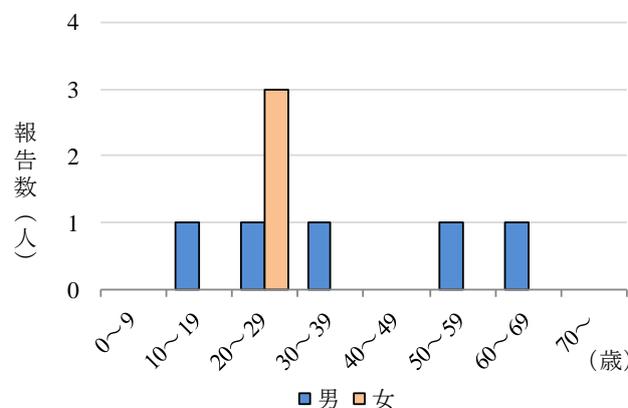
病原体情報

風しんの届出患者3例の検体を検査した結果、風しんウイルス遺伝子が検出されなかった。

k. 麻しん

患者情報

2019年は8例の報告があった。すべて検査診断例であった。推定感染地域は国内が7例、国外はカンボジア、タイ、韓国への渡航歴があった。ワクチン接種歴は、1回が1例、未接種が4例、不明が3例であった。



性別・年齢階級別患者報告数 (2019年)

病原体情報

患者7例の検体を検査した結果、5例より麻しんウイルス遺伝子が検出された。

2 定点把握対象の五類感染症

(1) インフルエンザ定点

a. インフルエンザ

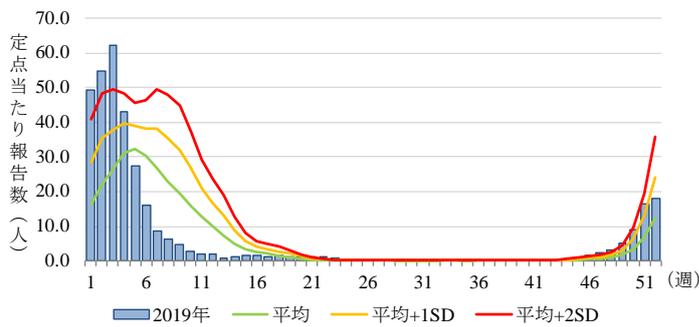
患者情報

2019年の累積患者報告数は30,660人（定点当たり352.88人）で、前年（定点当たり333.49人）と比べて増加した。

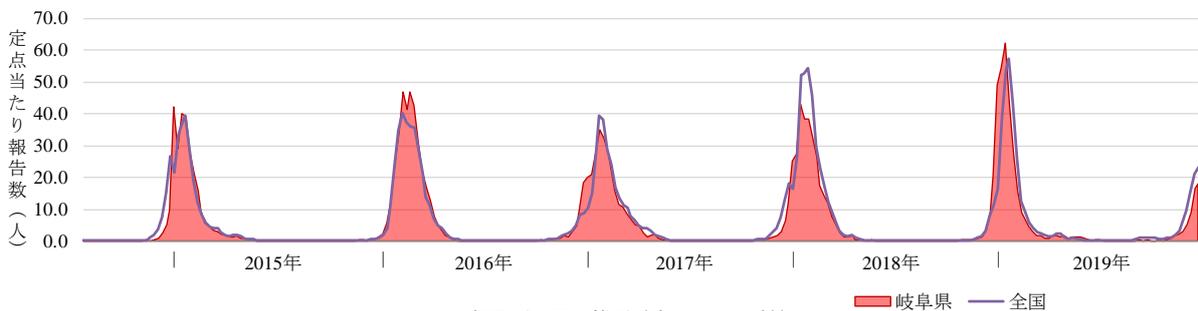
2018/19シーズンは、2018年第49週（12/3～9）に定点当たり1人を上回り流行入りした。以降増加し、2019年第3週（1/15～21）に定点当たり62.10人とピークとなり、第4週以降は減少に転じた。

2019/20シーズンは、2019年第46週（11/12～18）に定点当たり1人を上回り流行入りした。

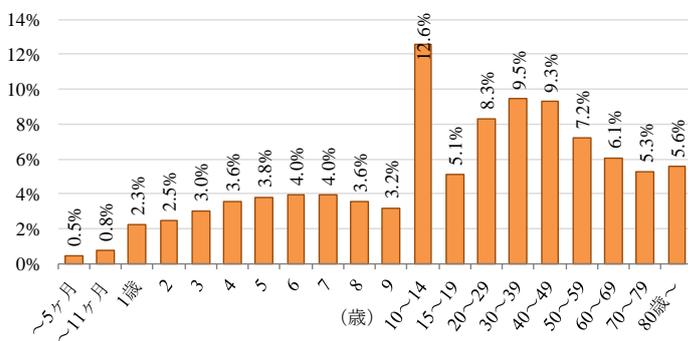
年齢階級別では0～4歳が全体の12.7%、5～9歳が18.6%、10～14歳が12.6%を占めた。



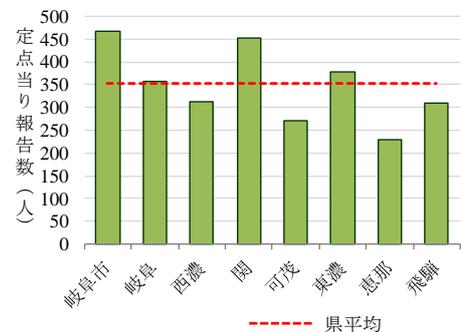
週別報告数 過去5年間の平均との比較



直近5年間の推移(全国との比較)



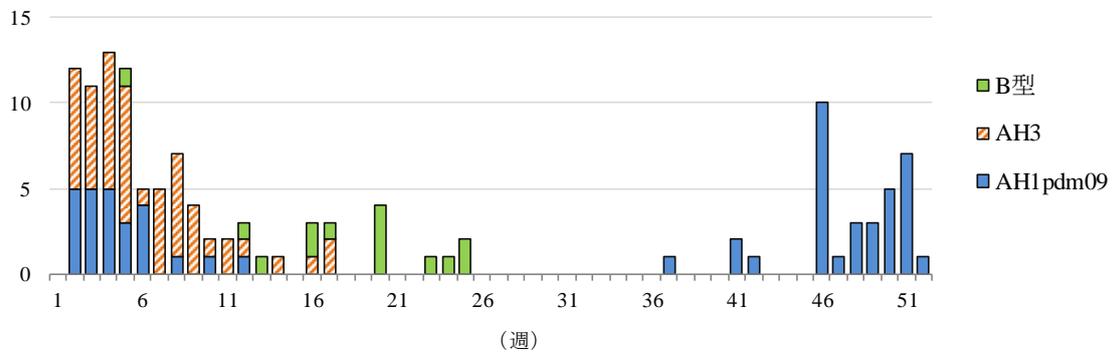
年齢階級別割合(2019年累積)



保健所別定点当たり報告数(2019年累積)

病原体情報

インフルエンザ患者 131 例の検体を検査した結果、126 例からインフルエンザウイルスが検出された。型・亜型の内訳は、AH1pdm09 が 59 例、AH3 が 53 例、B 型が 14 例であった。2018/19 シーズン初めは AH1pdm09 が主流で、シーズンの流行期には AH3 の検出が多く、終盤では B 型が検出された。2019/2020 のシーズン初めは前シーズン同様に AH1pdm09 が主流となった。



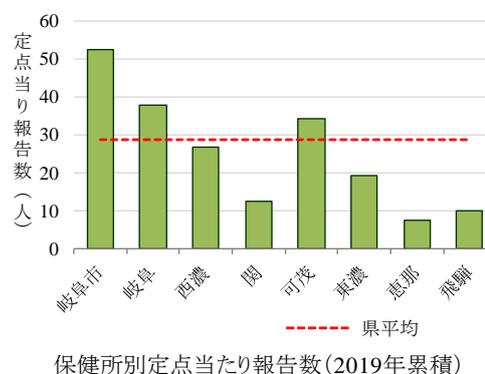
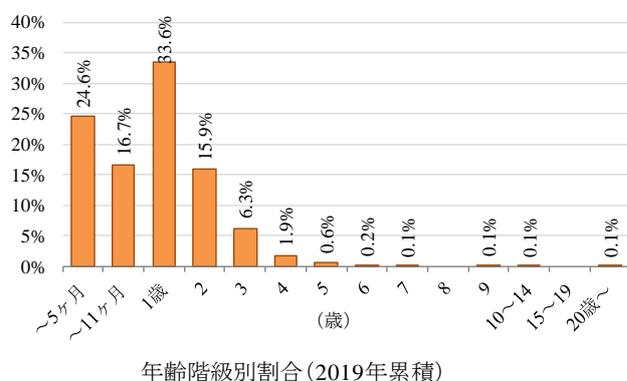
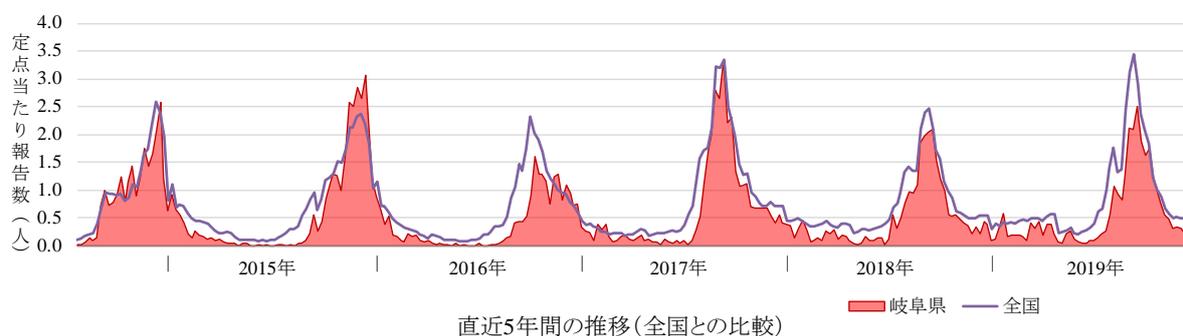
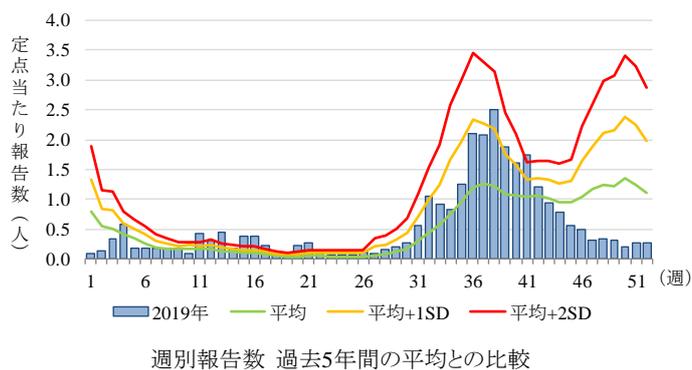
週別・型別検出状況

(2) 小児科定点

a. RSウイルス感染症

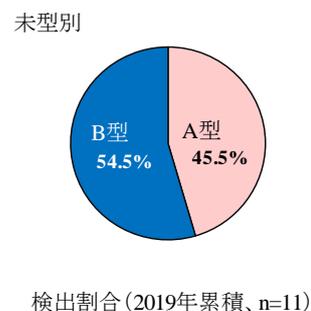
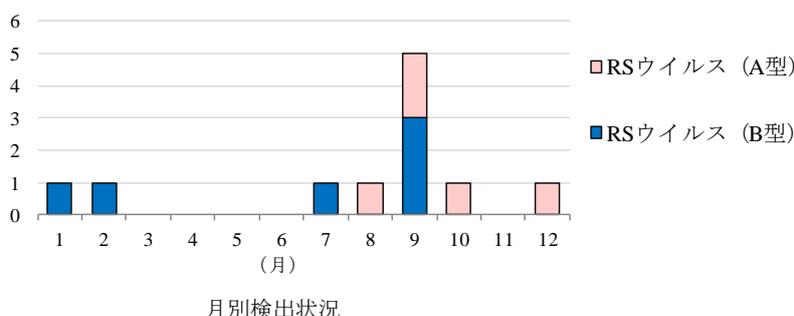
患者情報

2019年の累積患者報告数は1,511人(定点当たり28.60人)で、前年(定点当たり26.14人)と比べて増加した。第32週(8/6~12)から患者報告数が増加し、第38週(9/17~23)に定点当たり2.51人とピークとなった。ピークの時期は昨年と同時期で(昨年も第38週)、ピークの高さは昨年よりやや高かった。



病原体情報

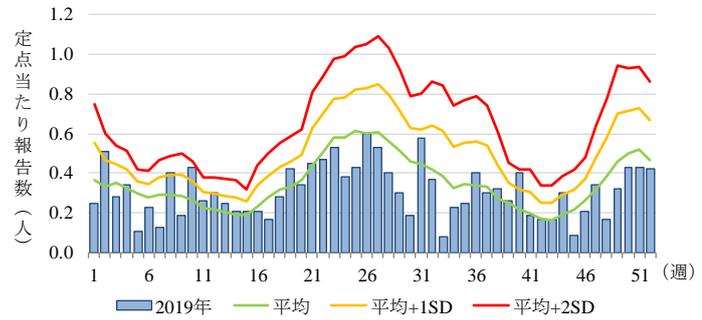
RSウイルス感染症患者13例の検体を検査した結果、11例からRSウイルスが検出された。ウイルスの血清型別はA型が5例、B型が6例であった。



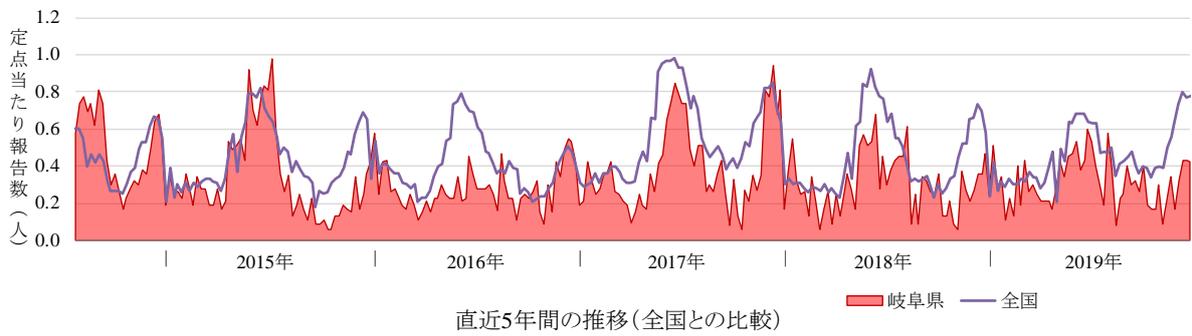
b. 咽頭結膜熱

患者情報

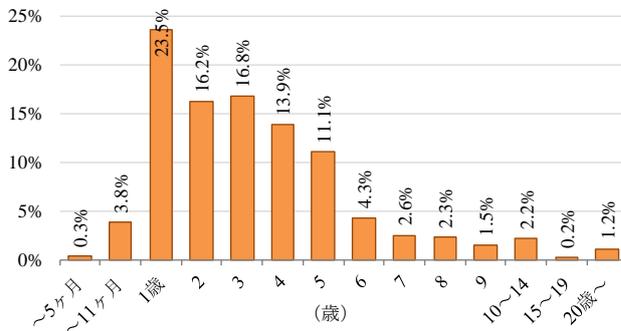
2019年の累積患者報告数は858人（定点当たり16.24人）で、前年（定点当たり15.68人）と比べてわずかに増加した。第19～31週（5/7～8/5）に患者報告数の増加がみられた。冬季の流行はみられなかった。年齢階級別では例年と同様に1～4歳が多く、1～4歳で全体の70.4%を占めた。



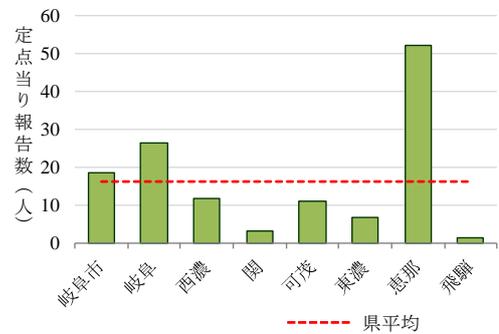
週別報告数 過去5年間の平均との比較



直近5年間の推移(全国との比較)



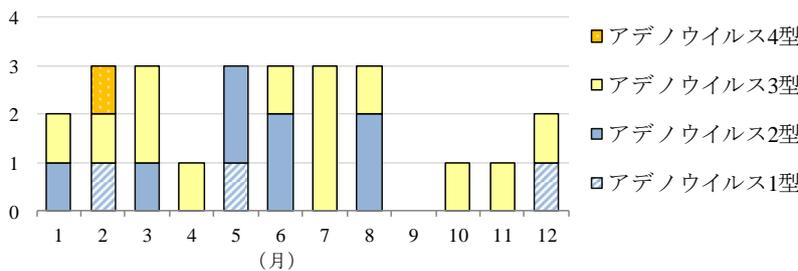
年齢階級別割合(2019年累積)



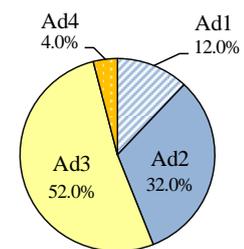
保健所別定点当たり報告数(2019年累積)

病原体情報

咽頭結膜熱患者18例の検体を検査した結果、16例からアデノウイルスが検出された。型別の内訳は、1型が2例、2型が6例、3型が7例、5型が1例であった。



月別検出状況

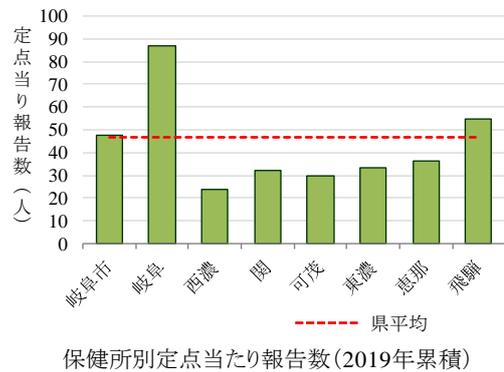
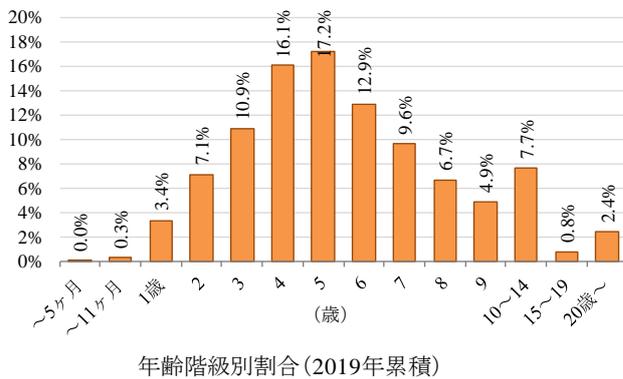
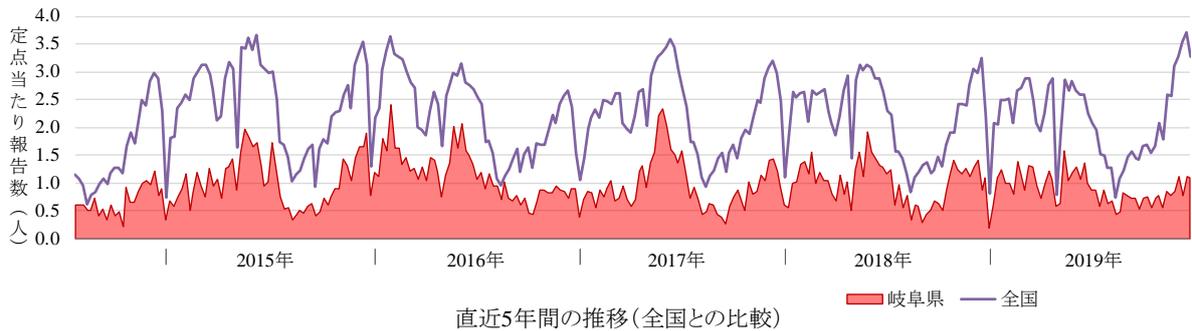
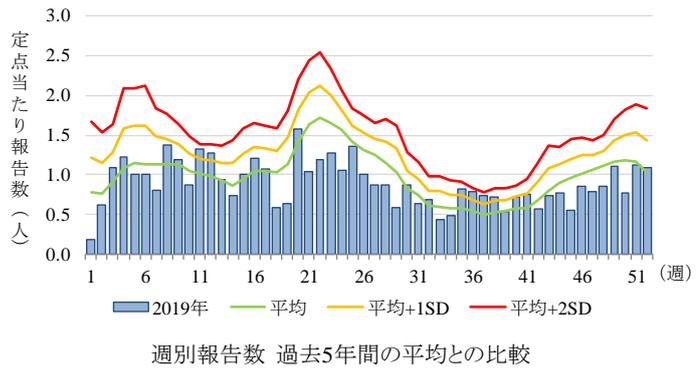


検出割合(2019年累積、n=25)

c. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

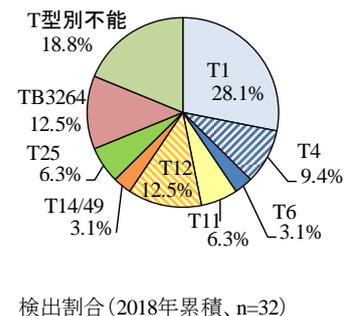
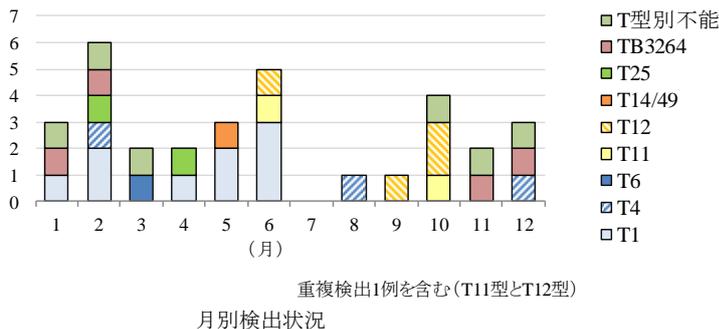
患者情報

2019年の累積患者報告数は2,455人（定点当たり46.47人）で、前年（定点当たり52.15人）と比べ減少した。2～3月に患者報告数の増加がみられた。年齢階級別では、例年と同様に、5歳をピークに幅広い年齢層の患者が報告された。



病原体情報

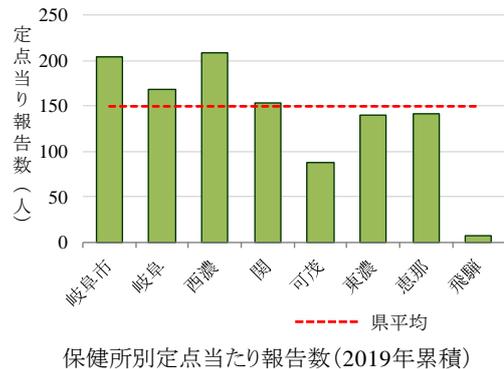
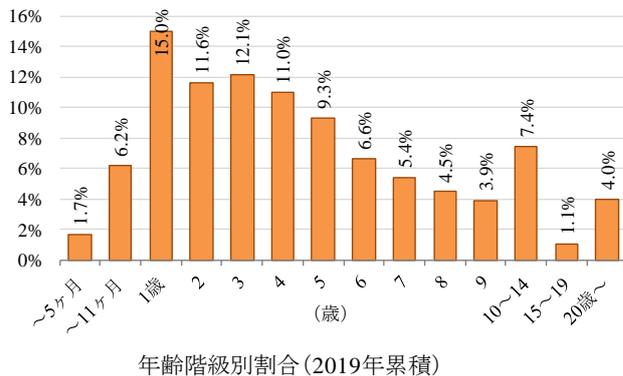
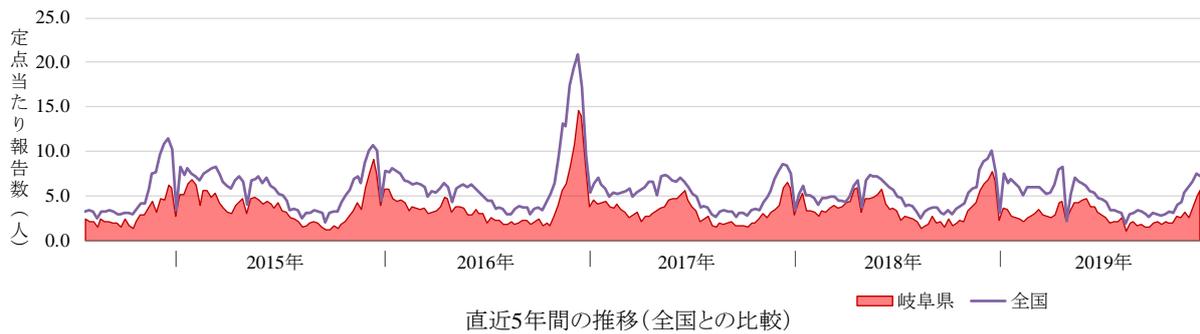
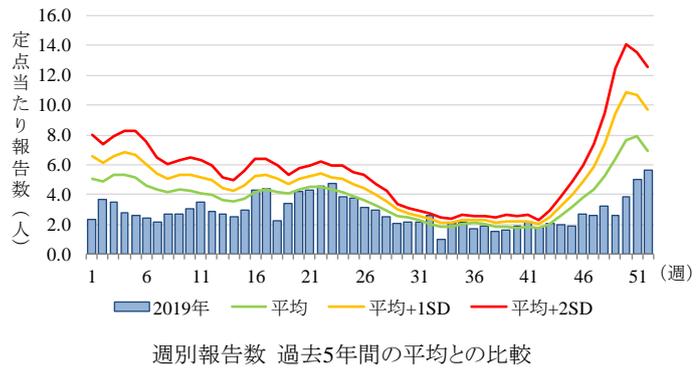
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者33例の検体を検査した結果、31例から *Streptococcus pyogenes* がされ、T型別はT1が9例、T4が3例、T6が1例、T11が2例、T12が4例、T14/49型が1例、T25型が2例、TB3264が4例、T型別不能が6例であった（重複検出1例を含む）。



d. 感染性胃腸炎

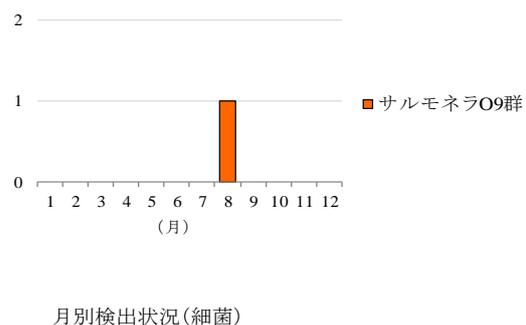
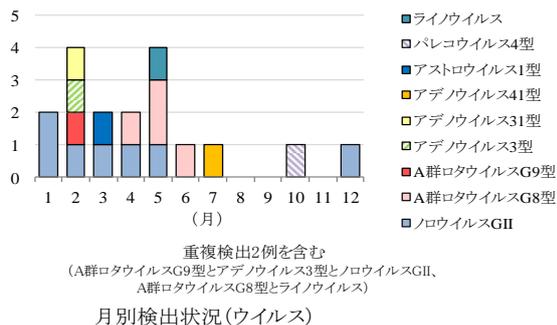
患者情報

2019年の累積患者報告数は7,880人（定点当たり149.17人）で、前年（定点当たり191.16人）より大幅に減少した。春～初夏は第16～23週（4/16～6/10）に患者報告数に増加がみられ、冬季は第51・52週（12/17～30）に増加がみられた。



病原体情報

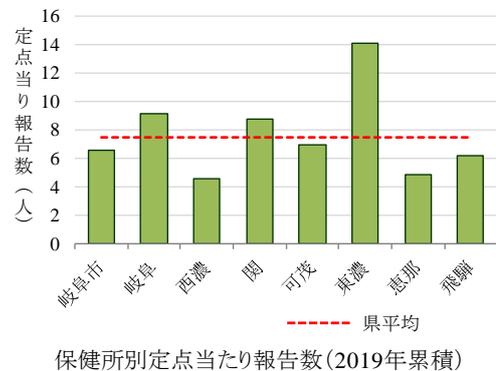
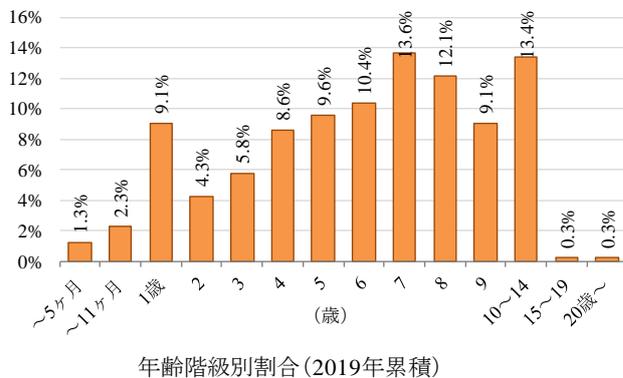
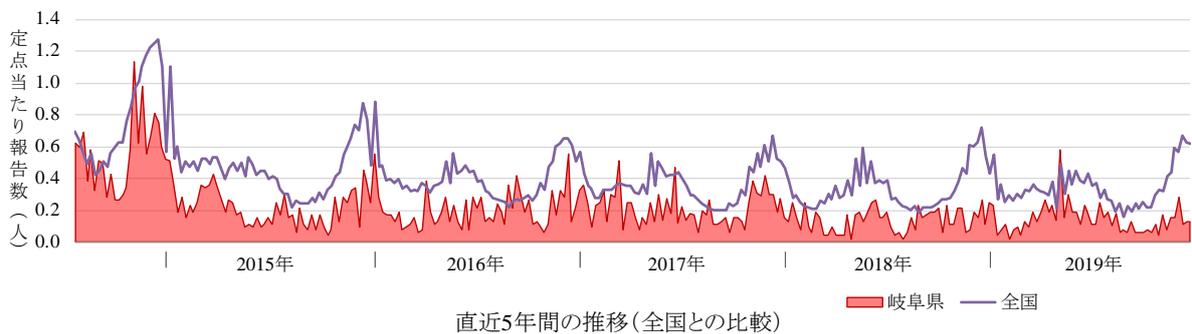
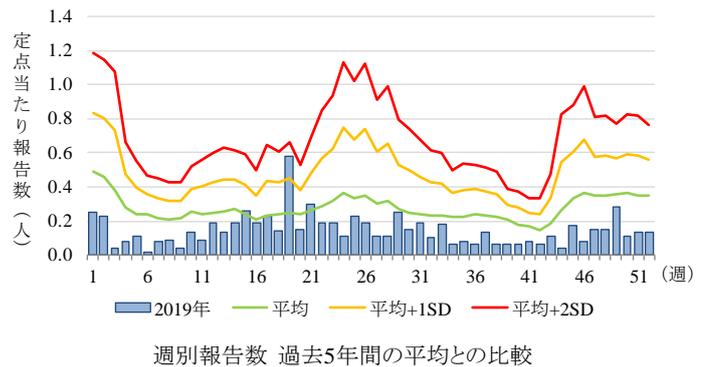
感染性胃腸炎患者26例の検体を検査した結果、15例からウイルス、1例から細菌が検出された。ウイルスは、1～5月にはノロウイルスGII、4～6月にはA群ロタウイルスが主に検出された他、アデノウイルスなどが検出された。細菌は、サルモネラO9群が検出された。



e. 水痘

患者情報

2019年の累積患者報告数は396人(定点当たり7.50人)で、前年(定点当たり7.06人)と同程度であった。2014年10月にワクチンが定期接種となって以降患者報告数は減少し、2019年も年間を通じて低いレベルで推移した。年齢階級別では、7歳をピークに5~8歳が多かった。



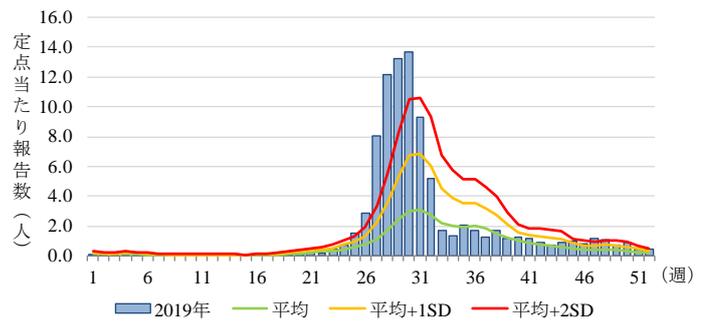
病原体情報

水痘患者3例の検体を検査した結果、3例すべてから水痘・帯状疱疹ウイルスが検出された。

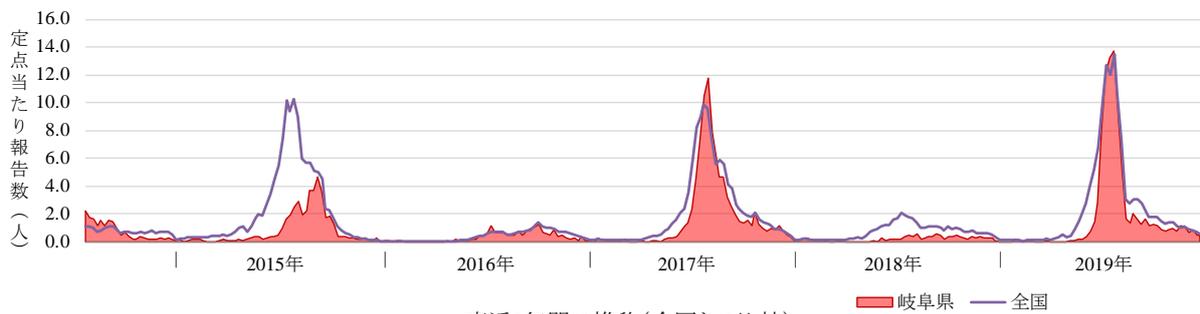
f. 手足口病

患者情報

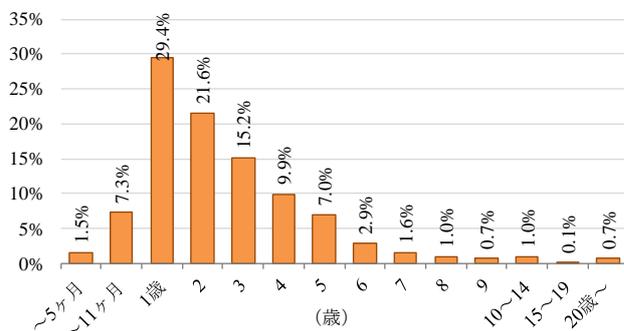
2019年の累積患者報告数は4,087人（定点当たり91.00人）で、前年（定点当たり11.41人）と比べて大幅に増加した。第26週（6/25～7/1）頃から患者報告数が増加し、第32週（8/6～12）までの流行となり、患者報告数は過去5年で最も多かった。年齢階級別では、1歳が最も多かった。



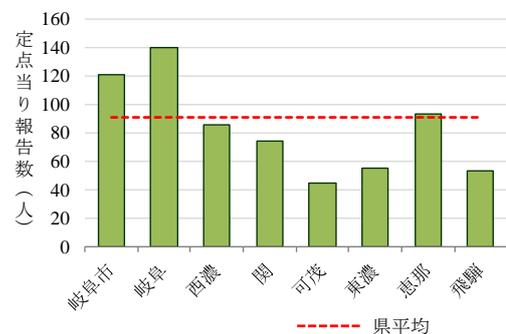
週別報告数 過去5年間の平均との比較



直近5年間の推移(全国との比較)



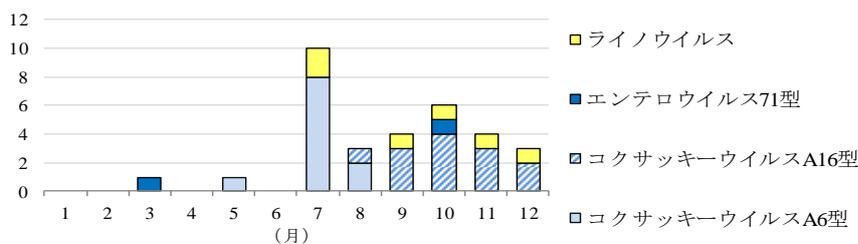
年齢階級別割合(2019年累積)



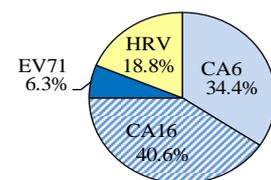
保健所別定点当たり報告数(2019年累積)

病原体情報

手足口病患者30例の検体を検査した結果、26例からウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルスA16型が13例、同A6型が11例、ライノウイルスが6例、エンテロウイルス71型が2例であった（重複検出6例を含む）。



月別検出状況



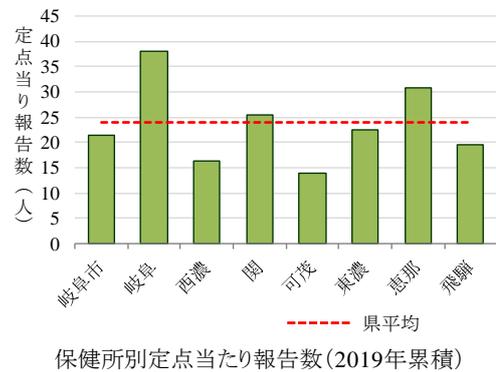
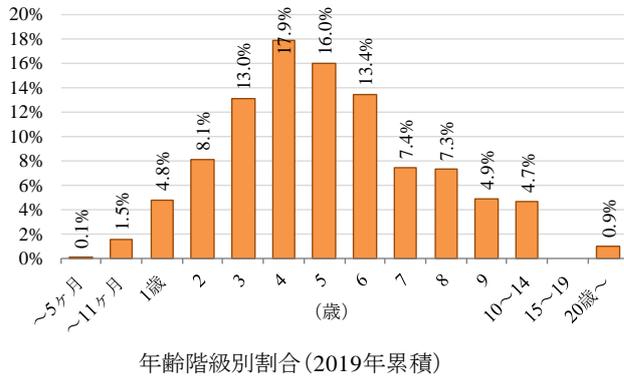
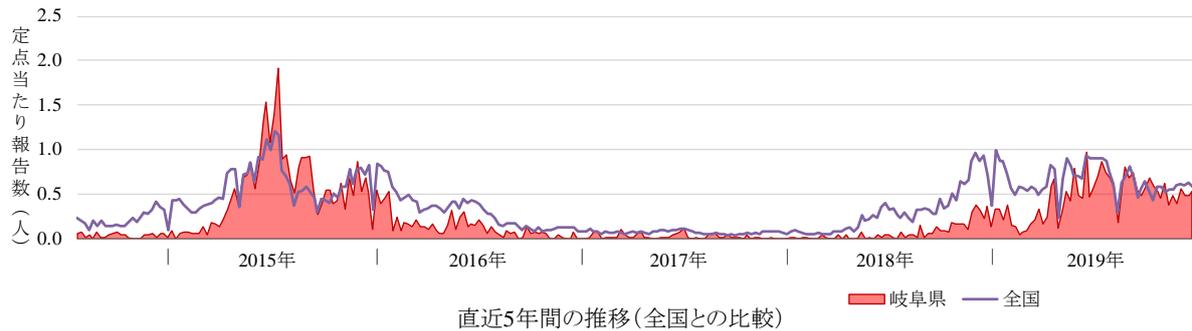
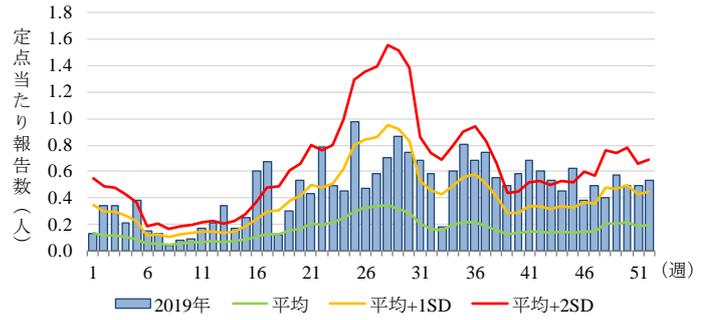
検出割合(2019年累積、n=32)

重複検出5例を含む。(コクサッキーウイルスA6型とライノウイルス:2例、コクサッキーウイルスA16型とライノウイルス:4例)

g. 伝染性紅斑

患者情報

2019年の累積患者報告数は1,265人（定点当たり23.95人）で、前年（定点当たり3.71人）と比べて増加した。第12週（3/19～25）頃から、徐々に患者報告数が増加した。年齢階級別では、4歳をピークに幅広い年齢の小児で報告された。



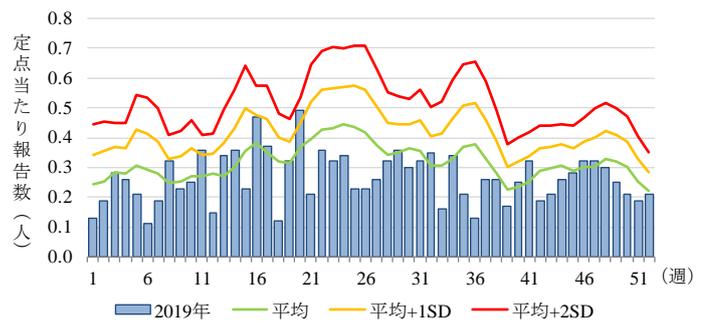
病原体情報

伝染性紅斑患者3例の検体を検査した結果、3例すべてからパルボウイルス B19 が検出された。

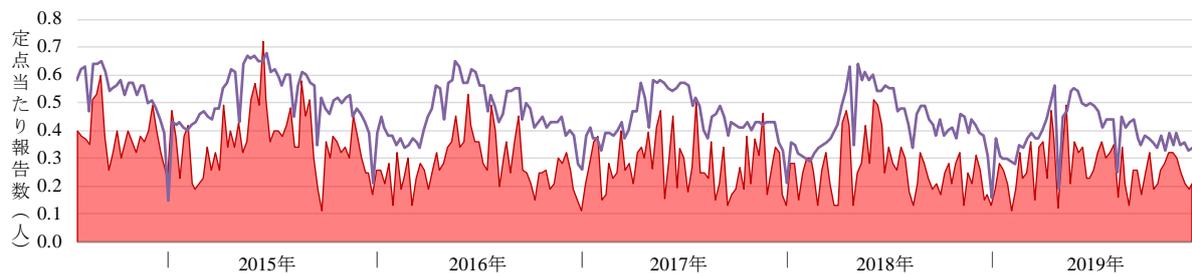
h. 突発性発しん

患者情報

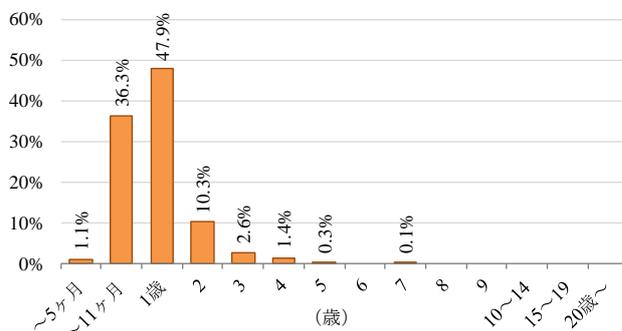
2019年の累積患者報告数は730人(定点当たり13.82人)で、前年(定点当たり13.75人)と同程度であった。年間を通じて患者の報告があった。年齢階級別では、例年と同様に6ヵ月～1歳が全体の84.2%と大部分を占めた。



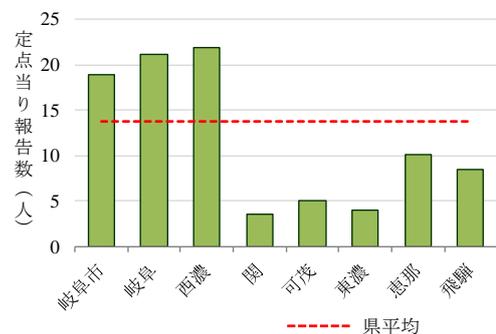
週別報告数 過去5年間の平均との比較



直近5年間の推移(全国との比較)



年齢階級別割合(2019年累積)



保健所別定点当たり報告数(2019年累積)

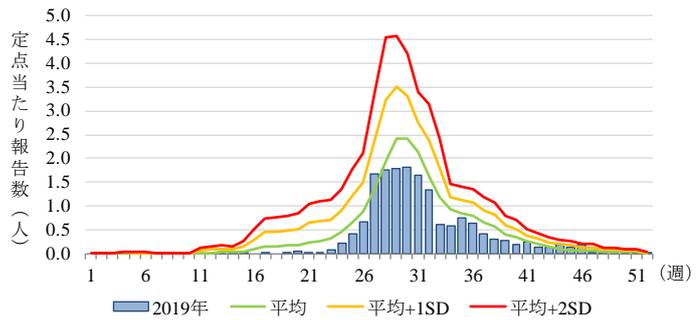
病原体情報

突発性発しん患者7例の検体を検査した結果、1例からヒトヘルペスウイルス6型が検出された。

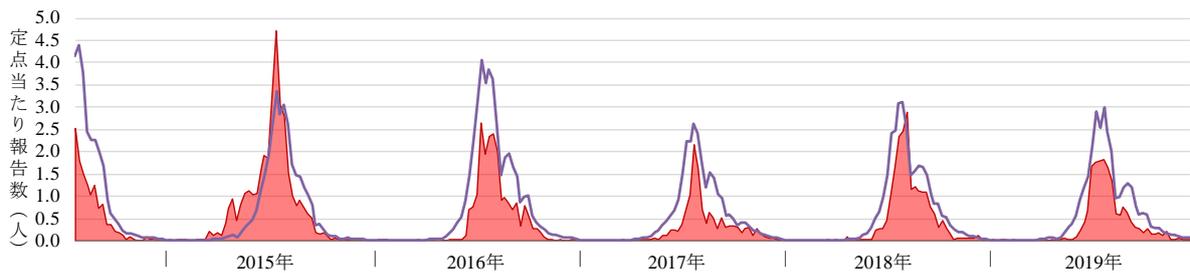
i. ヘルパンギーナ

患者情報

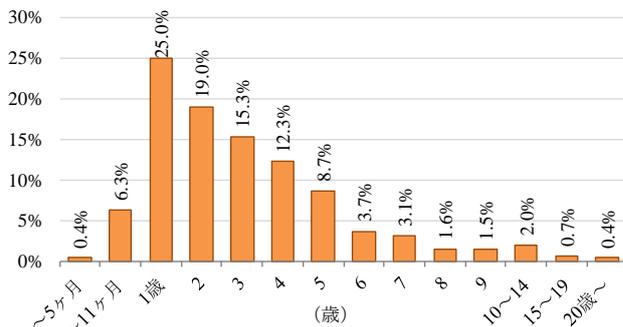
2019年の累積患者報告数は889人(定点当たり16.83人)で、前年(定点当たり20.60人)と比べて減少した。第24週(6/11~17)から患者報告数が増加し、第30週(7/23~29)にピークとなった。年齢階級別では、例年と同様に1歳で最も多かった。



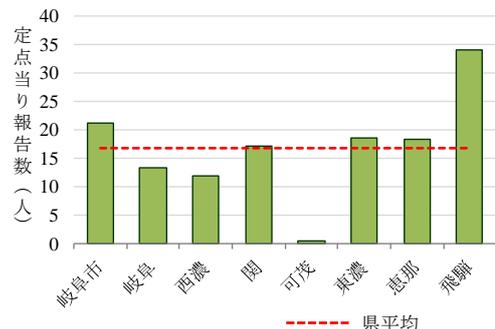
週別報告数 過去5年間の平均との比較



直近5年間の推移(全国との比較)



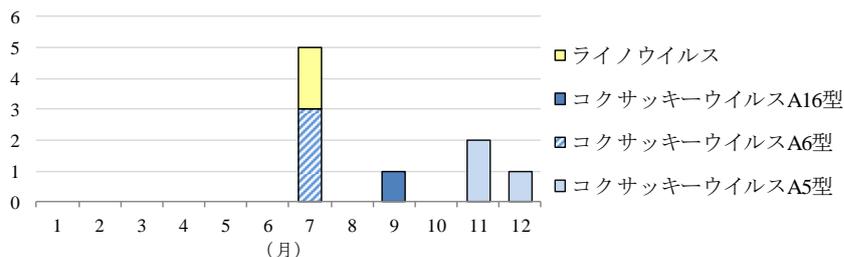
年齢階級別割合(2019年累積)



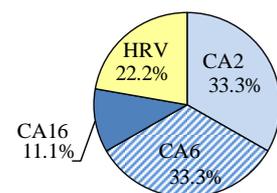
保健所別定点当たり報告数(2019年累積)

病原体情報

ヘルパンギーナ患者8例の検体を検査した結果、7例からウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルスA5型、同A6型が各3例、同A16型が1例、ライノウイルスが2例であった(重複検出2例を含む)。



重複検出2例を含む(コクサッキーウイルスA6型とライノウイルス:2例)
月別検出状況

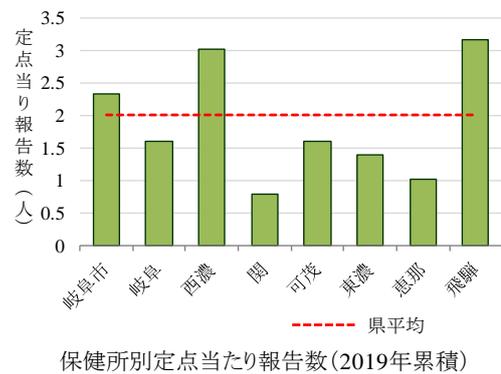
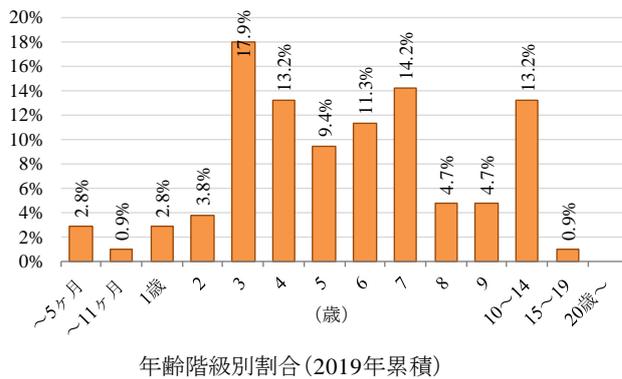
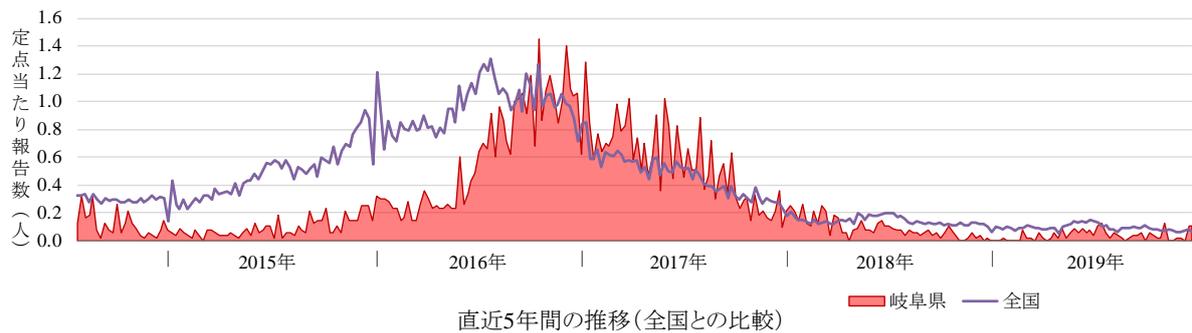
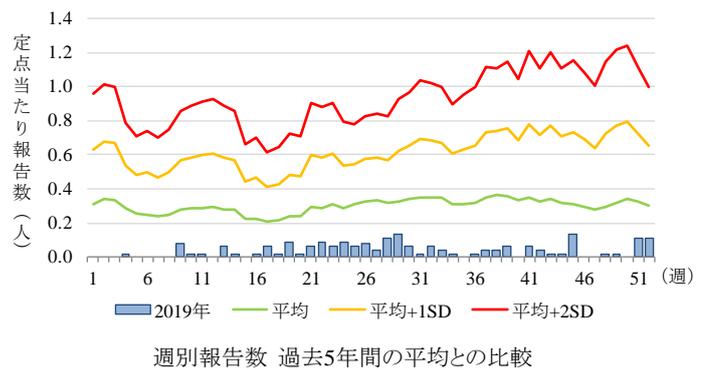


検出割合(2019年累積、n=9)

j. 流行性耳下腺炎

患者情報

2019年の累積患者報告数は106人(定点当たり2.01人)で、前年(定点当たり4.86人)と比べて大きく減少した。2016～2017年の流行が収束し、患者報告数はさらに緩やかに減少した。年齢階級別では、3～7歳を中心に報告された。



病原体情報

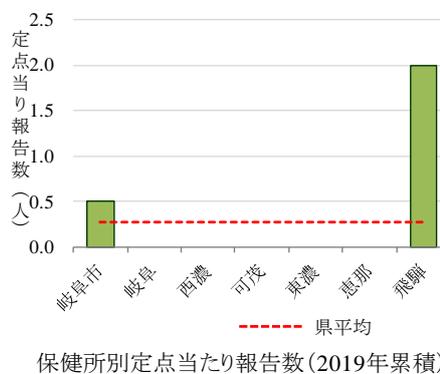
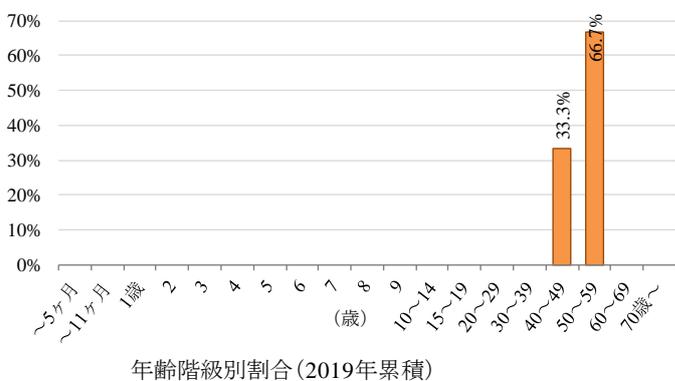
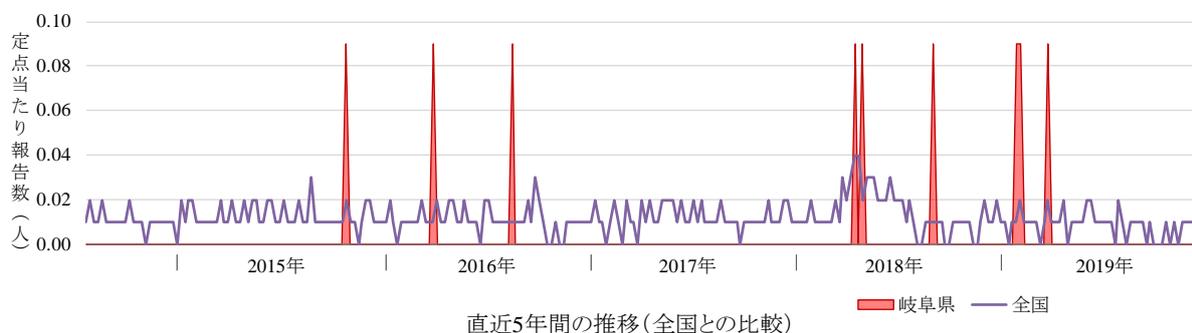
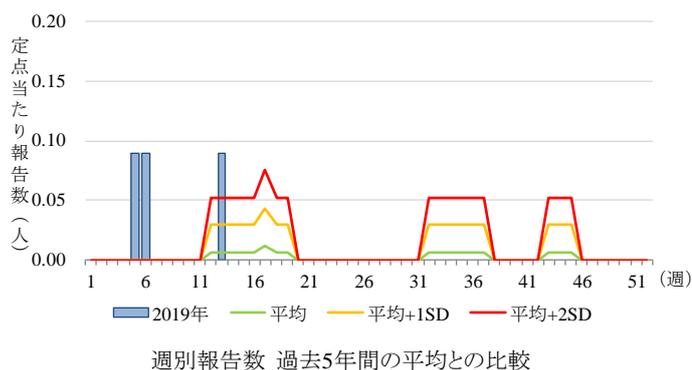
流行性耳下腺炎患者3例の検体を検査した結果、病原体は不検出であった。

(3) 眼科定点

a. 急性出血性結膜炎

患者情報

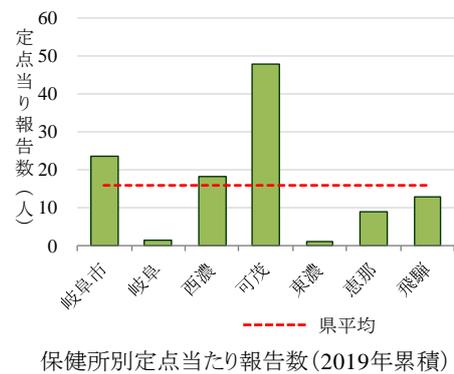
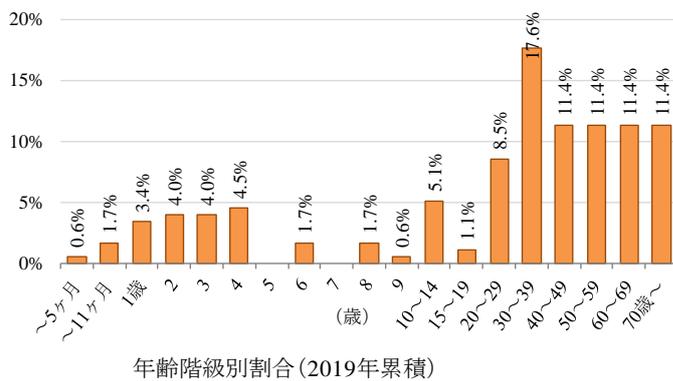
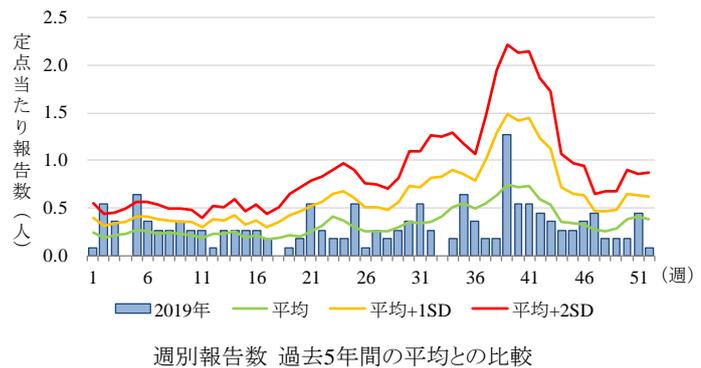
2019年の累積患者報告数は3例（定点当たり0.27人）であった。患者は40歳代が1例、50歳代が2例であった。直近5年では、2015年に1人、2016・2018年に各2人の報告があったのみで、流行はみられていない。



b. 流行性角結膜炎

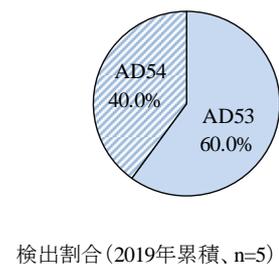
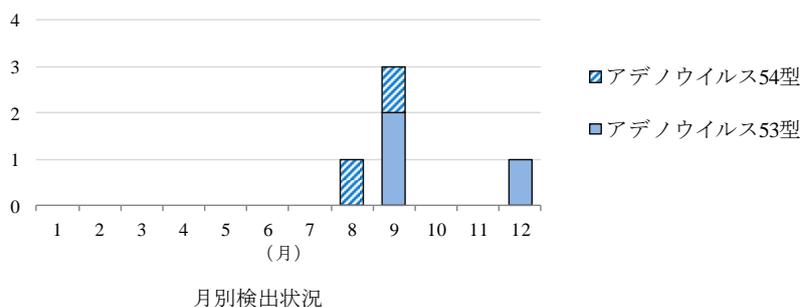
患者情報

2019年の累積患者報告数は176人(定点当たり16.00人)で、前年(定点当たり17.45人)と同程度であった。第35～41週(8/27～10/14)に患者報告数の増加がみられた。年齢階級別では、10歳未満の小児が全体の22.2%であったが、成人も幅広い年齢層で患者が報告された。



病原体情報

流行性角結膜炎患者5例の検体を検査した結果、5例すべてからアデノウイルスが検出された。型別の内訳は、53型が3例、54型が2例であった。



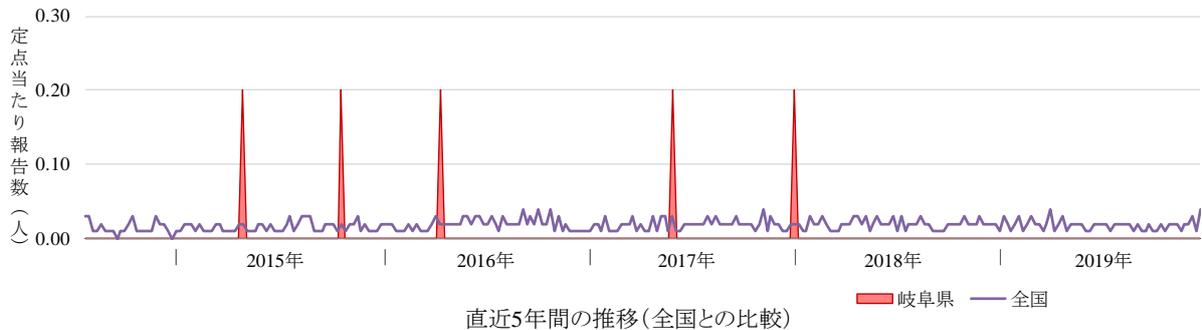
(4) 基幹定点

a. 細菌性髄膜炎（髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。）

患者情報

2019年の患者報告はなく、前年（定点当たり0.20人）から減少した。

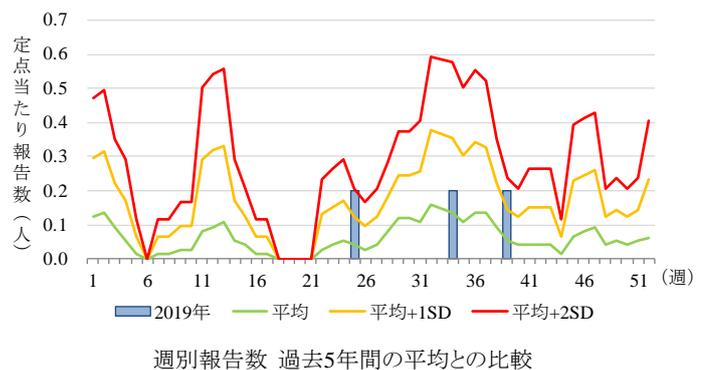
2013年4月1日に髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因とする髄膜炎が全数把握対象の五類感染症に指定され本疾患の対象外となって以降、本疾患の患者報告数は減少している。



b. 無菌性髄膜炎

患者情報

2019年の累積患者報告数は3人（定点当たり0.60人）で、前年（定点当たり2.00人）より減少した。特定週における患者の集積は認められなかった。患者の年齢階級は、1～4歳が1例、5～9歳が2例であった。



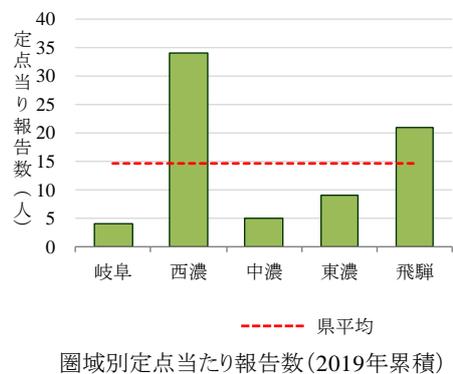
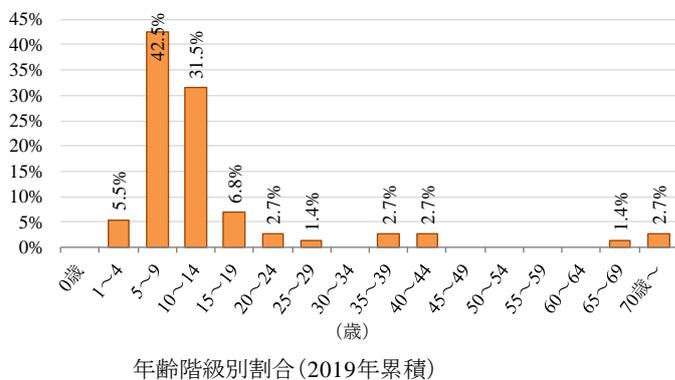
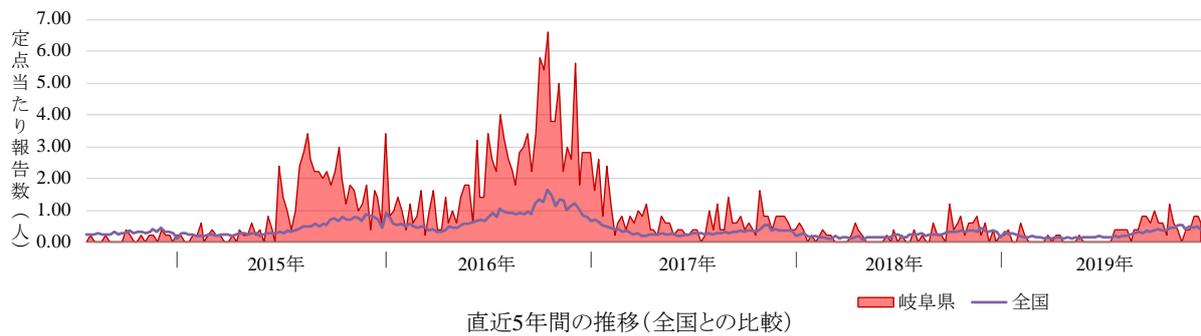
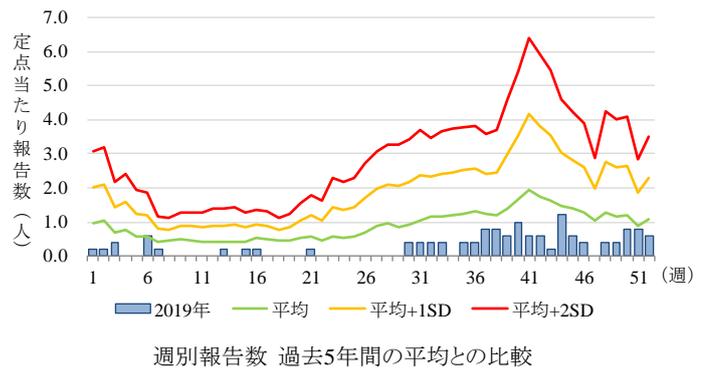
病原体情報

無菌性髄膜炎患者4例の検体を検査した結果、1例からウイルスが検出された。その内訳は、サイトメガロウイルス、パレコウウイルスが各1例、1例の患者より重複して検出された。

c. マイコプラズマ肺炎

患者情報

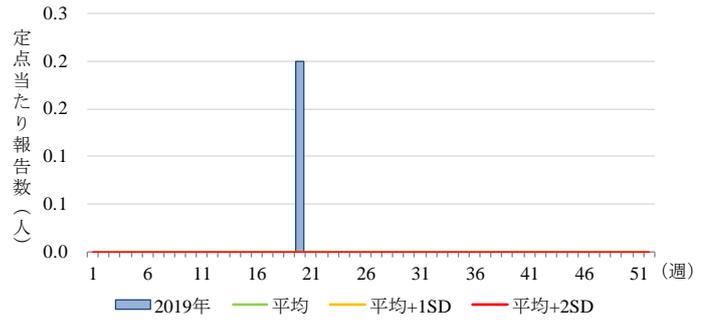
2019年の累積患者報告数は73人(定点当たり14.50人)で、前年(定点当たり12.80人)と概ね同程度で、年間を通じて少ない報告数で推移した。年齢階級別では例年と同様に15歳未満が多く、5～9歳が全体の42.5%、10～14歳が31.5%を占めた。



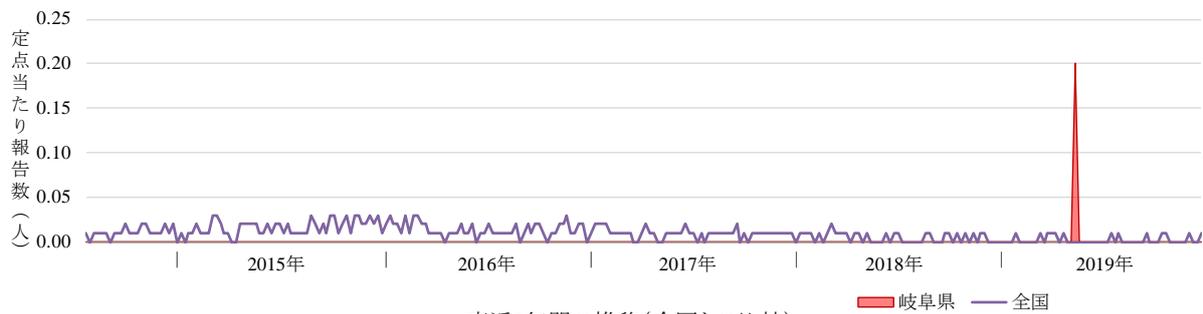
d. クラミジア肺炎（オウム病を除く。）

患者情報

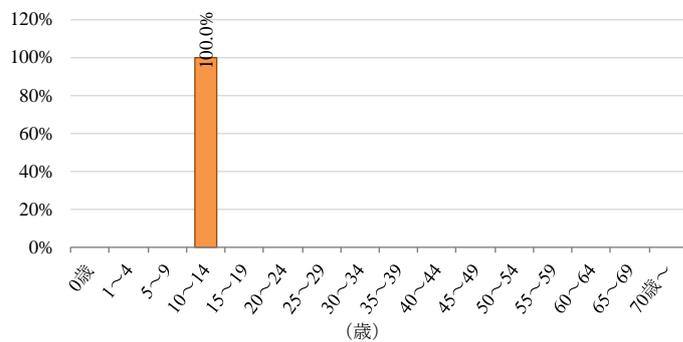
2019年の患者報告数は1例（定点当たり0.20人）であった。2018年までの過去5年間、県内での患者の報告はなく、全国でも2014年以降低いレベルで推移している。



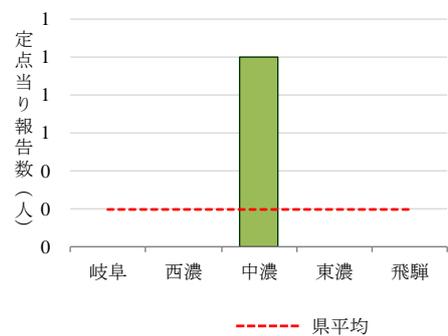
週別報告数 過去5年間の平均との比較



直近5年間の推移(全国との比較)



年齢階級別割合(2019年累積)

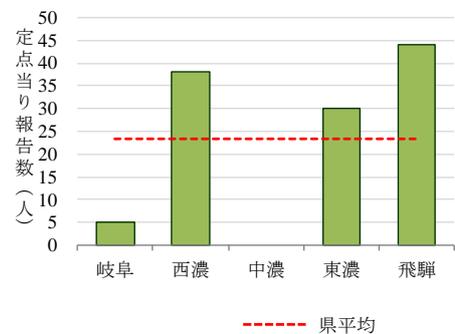
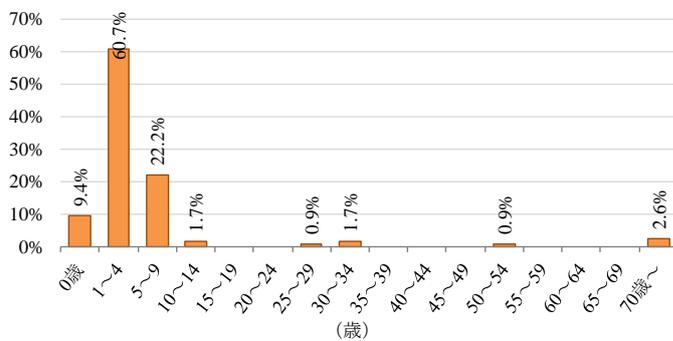
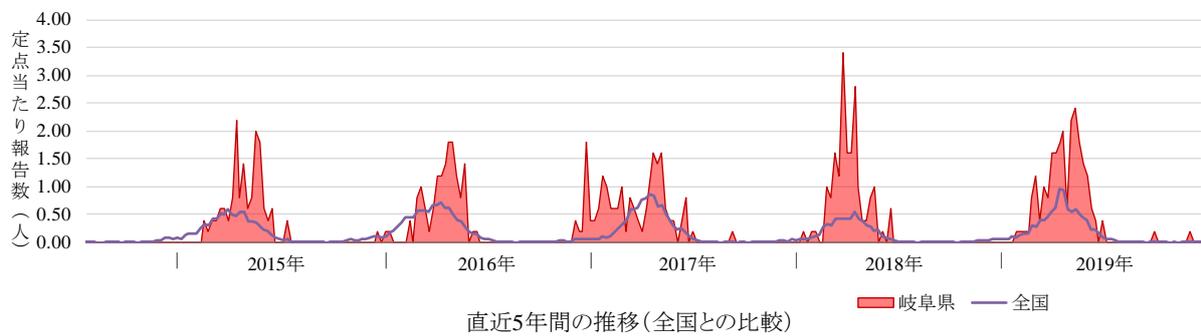
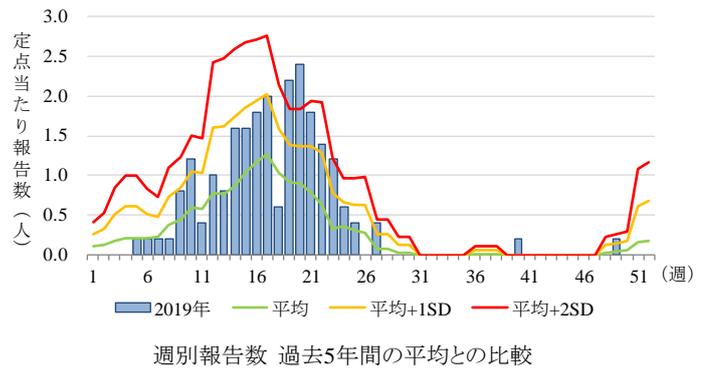


圏域別定点当たり報告数(2019年累積)

e. 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）

患者情報

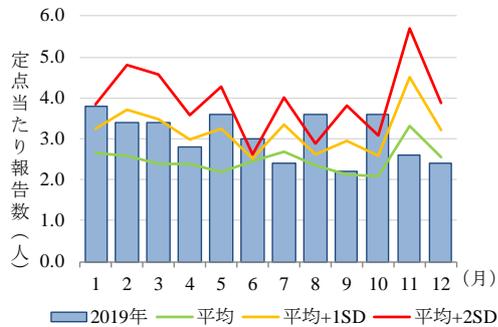
2019年の累積患者報告数は117人（定点当たり23.40人）で、前年（定点当たり19.00人）とわずかに増加した。第5～25週（1/29～6/24）に継続的に患者が報告され、第20週（5/14～20）がピークであった。年齢階級別では、例年と同様に1～4歳が多く、全体の60.7%を占めた。



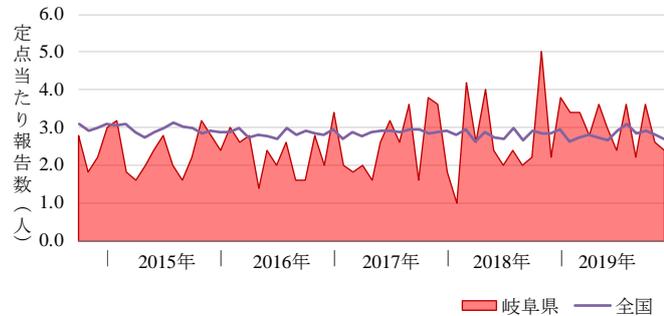
f. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

患者情報

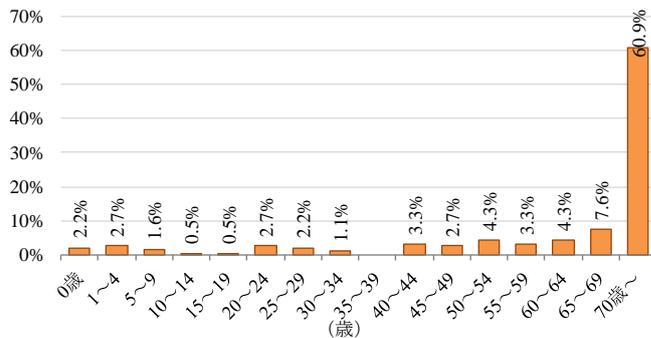
2019年の累積患者報告数は184人（定点当たり36.80人）で、前年（定点当たり31.80人）より増加した。年齢階級別では、例年と同様に高齢者が多く70歳以上が全体の60.9%を占めた。



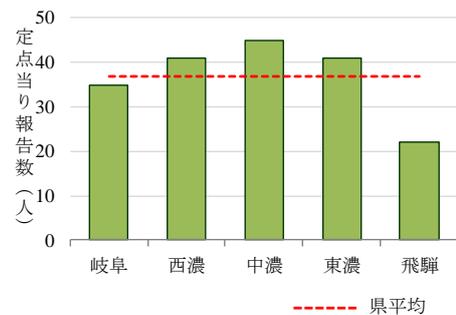
月別報告数 過去5年間の平均との比較



直近5年間の推移(全国との比較)



年齢階級別割合(2019年累積)

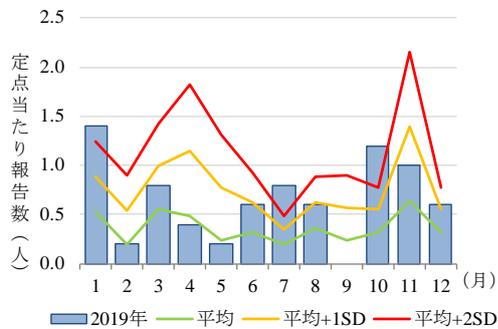


圏域別定点当たり報告数(2019年累積)

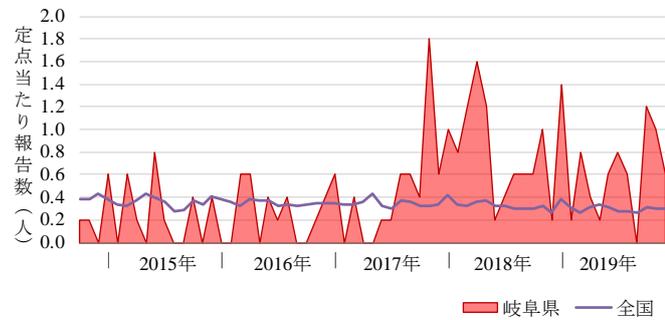
g. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

患者情報

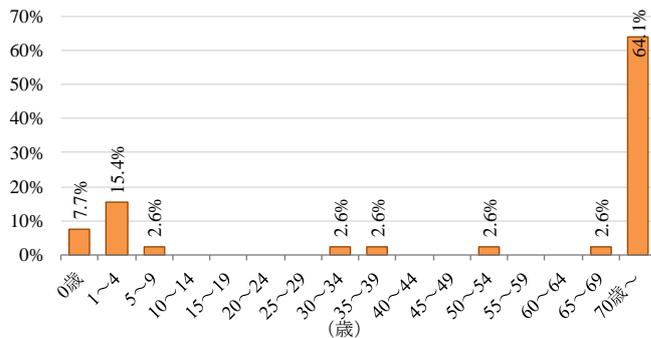
2019年の累積患者報告数は39人（定点当たり7.80人）で、前年（定点当たり9.40人）と比べて減少した。年齢階級別では、70歳以上が全体の64.1%を占めた。



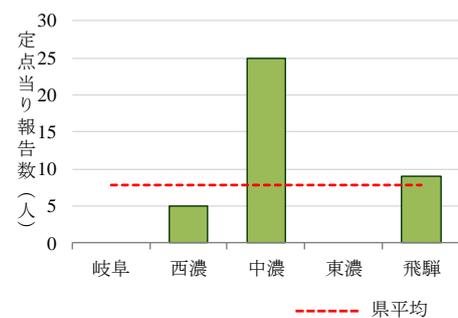
月別報告数 過去5年間の平均との比較



直近5年間の推移(全国との比較)



年齢階級別割合(2019年累積)

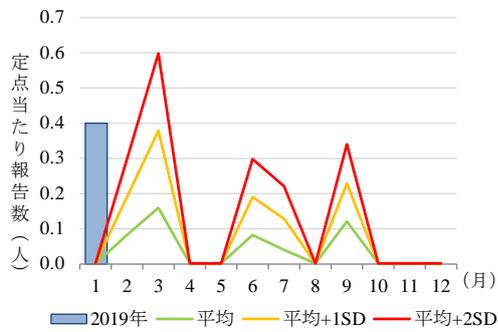


圏域別定点当たり報告数(2019年累積)

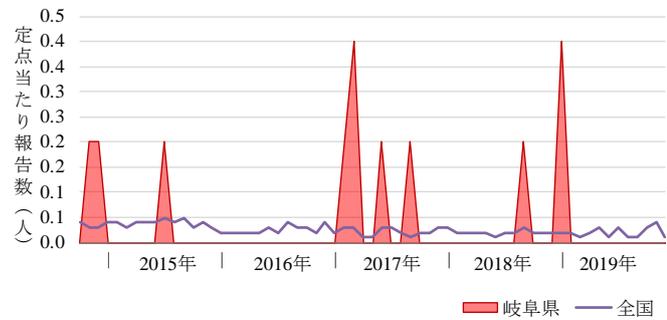
h. 薬剤耐性緑膿菌感染症

患者情報

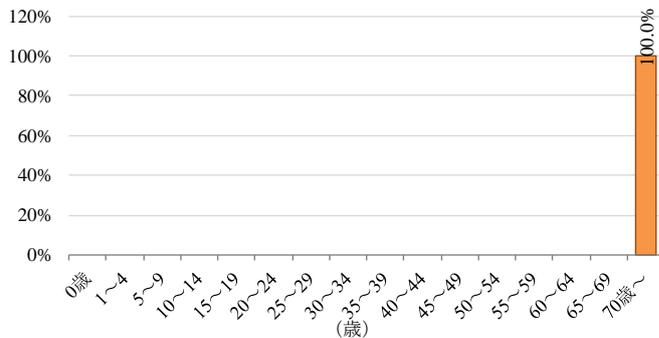
2019年の累積患者報告数は2人（定点当たり0.40人）で、前年（定点当たり0.20人）と比べて増加した。患者の年齢階級は70歳以上であった。



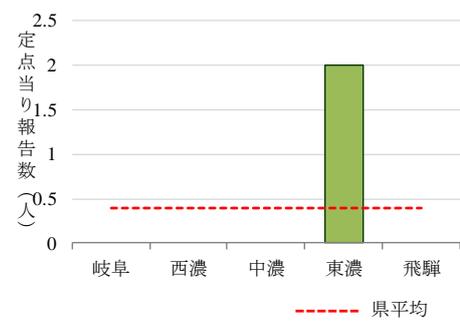
月別報告数 過去5年間の平均との比較



直近5年間の推移(全国との比較)



年齢階級別割合(2019年累積)



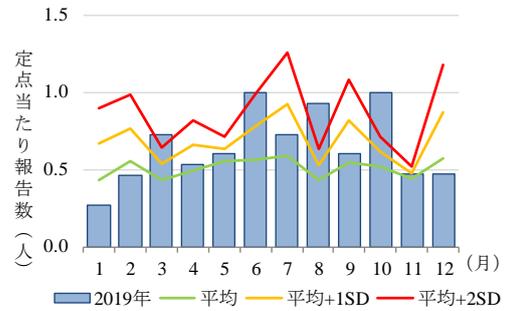
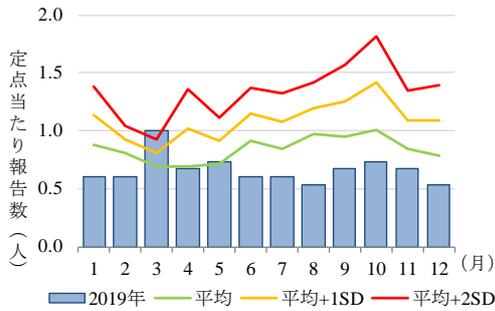
圏域別定点当たり報告数(2019年累積)

(5) 性感染症定点

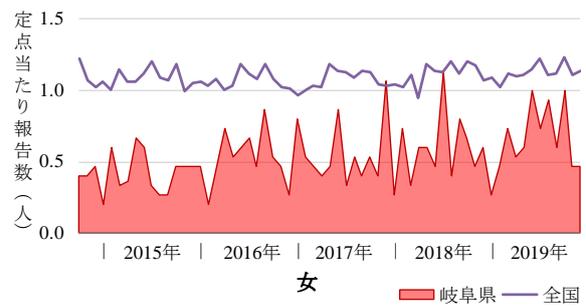
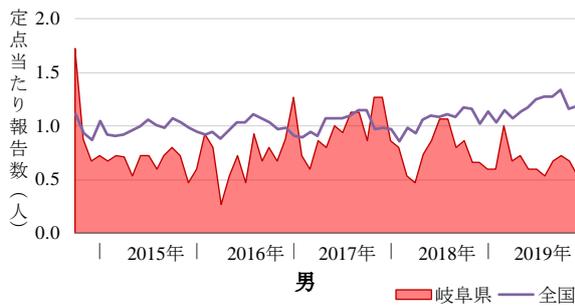
a. 性器クラミジア感染症

患者情報

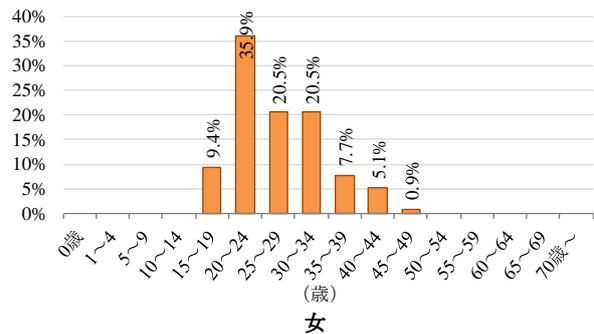
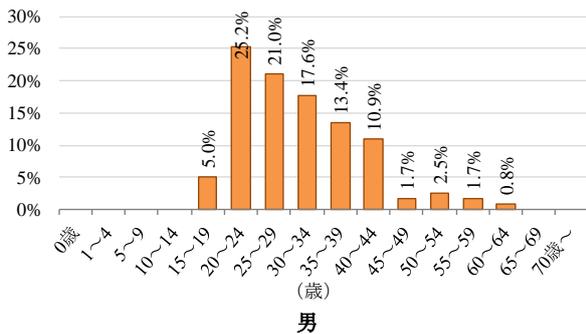
2019年の累積患者報告数は男性119人（定点当たり7.93人）、女性117人（定点当たり7.80人）で、前年（男性：定点当たり9.40人、女性：定点当たり7.07人）と比べて男性は減少、女性は増加した。例年と同じく男女ともに20歳代が多く、10代後半の患者も報告された。



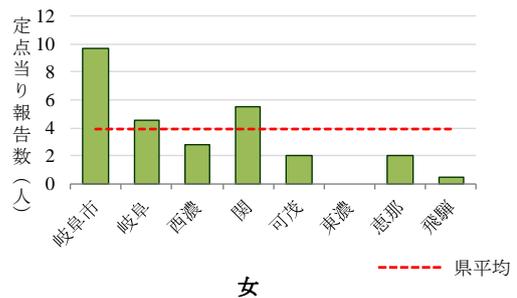
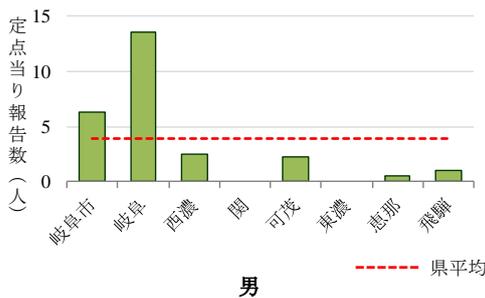
男 月別報告数 過去5年間の平均との比較 女



男 直近5年間の推移(全国との比較) 女



男 年齢階級別割合(2019年累積) 女

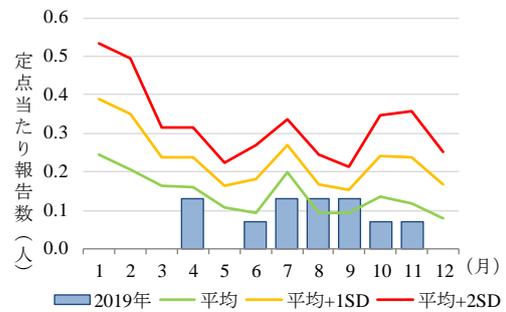
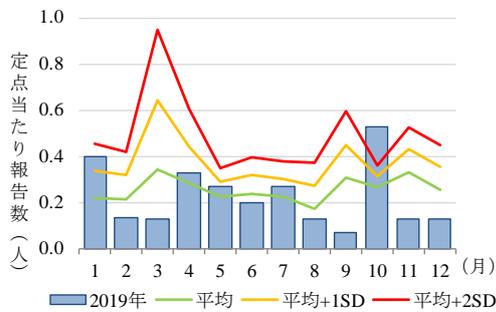


男 保健所別定点当たり報告数(2019年累積) 女

b. 性器ヘルペスウイルス感染症

患者情報

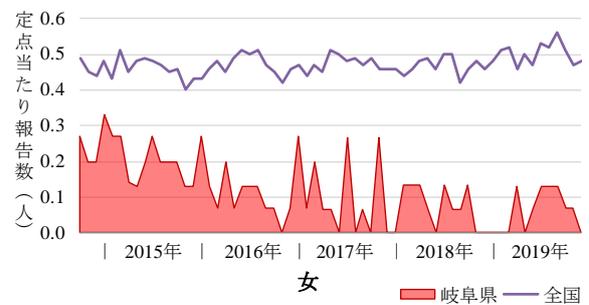
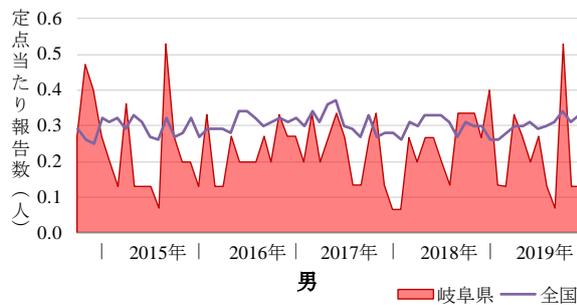
2019年の累積患者報告数は男性41人（定点当たり2.73人）、女性11人（定点当たり0.73人）で、前年（男性：定点当たり2.73人、女性：定点当たり0.87人）と概ね同程度であった。男女ともに20歳代～30歳代前半に多かった。



男

女

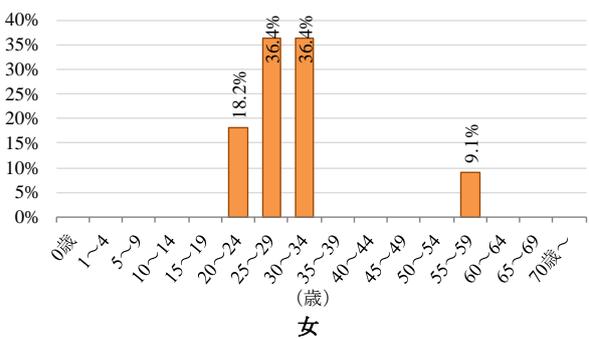
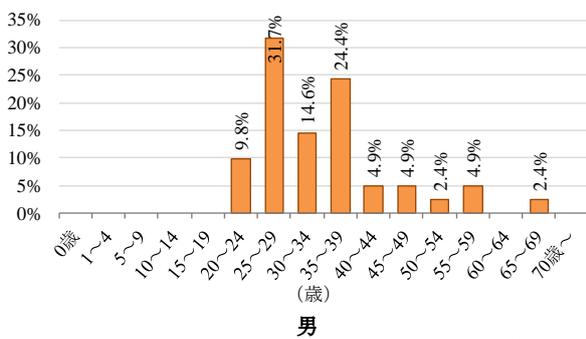
月別報告数 過去5年間の平均との比較



男

女

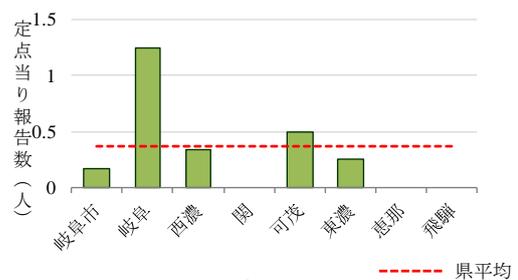
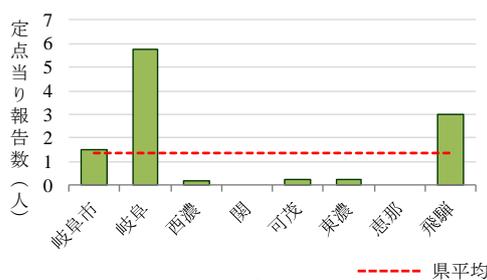
直近5年間の推移(全国との比較)



男

女

年齢階級別割合(2019年累積)



男

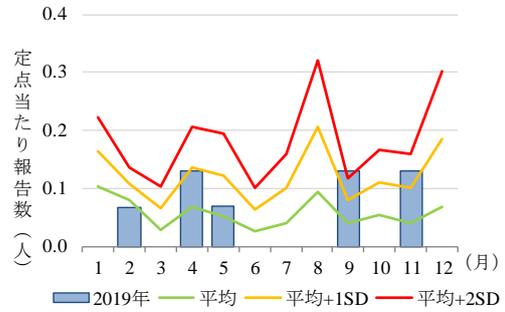
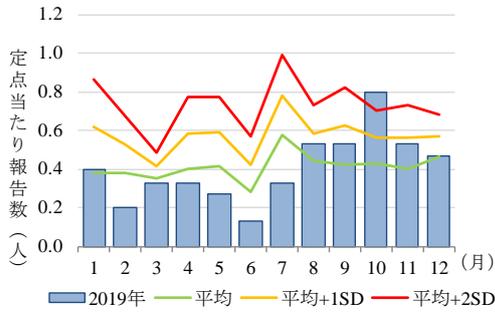
女

保健所別定点当たり報告数(2019年累積)

c. 尖圭コンジローマ

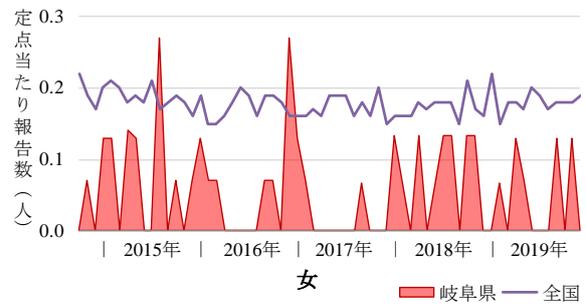
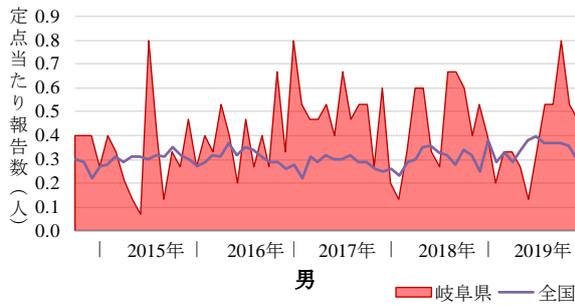
患者情報

2019年の累積患者報告数は男性73人（定点当たり4.87人）、女性8人（定点当たり0.53人）で、前年（男性：定点当たり5.33人、女性：定点当たり0.93人）と比べて男女ともに減少した。年齢階層では、男性は20歳代後半から40歳代前半が、女性は20歳代後半の報告が多かった。

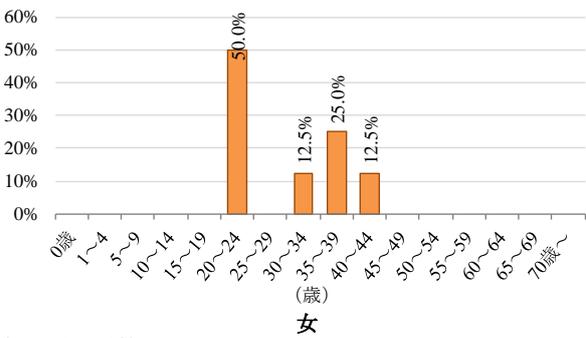
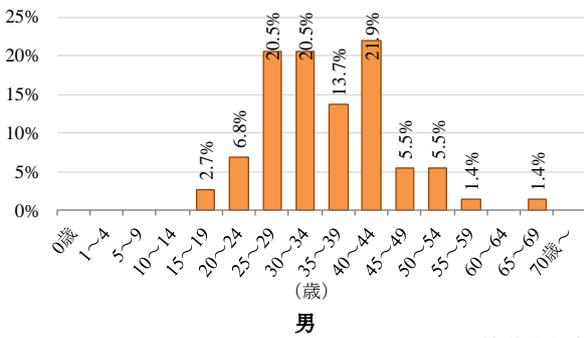


男 月別報告数 過去5年間の平均との比較

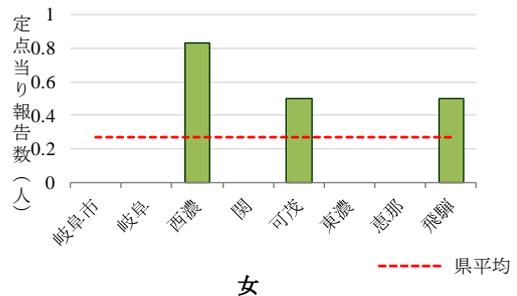
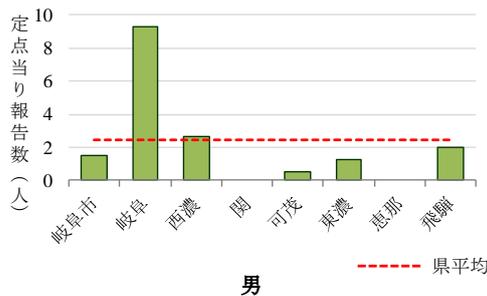
女



直近5年間の推移(全国との比較)



年齢階級別割合(2019年累積)

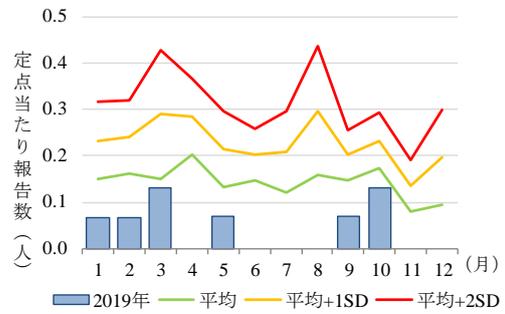
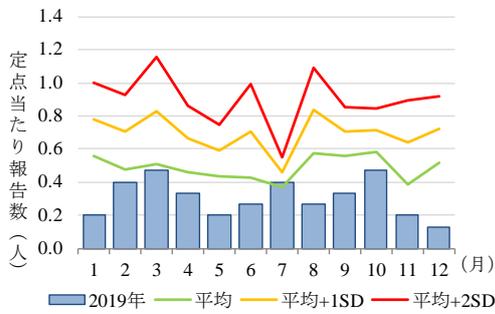


保健所別定点当たり報告数(2019年累積)

d. 淋菌感染症

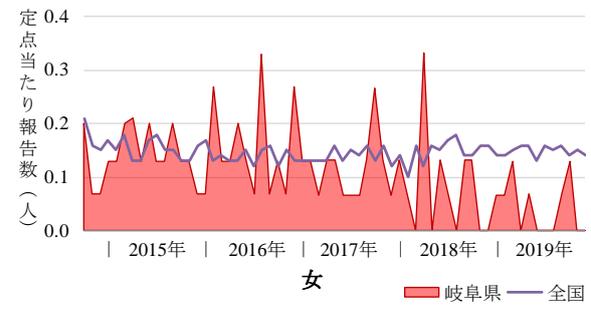
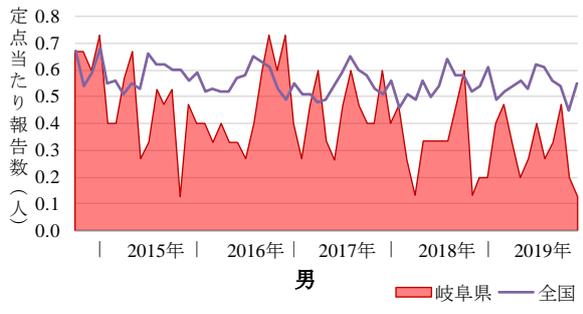
患者情報

2019年の累積患者報告数は男性55人（定点当たり3.67人）、女性8人（定点当たり0.53人）で、前年（男性：定点当たり4.00人、女性：定点当たり1.00人）と比べて男女ともに減少した。男女ともに20歳代が多く、女性では10代前半の患者も報告された。

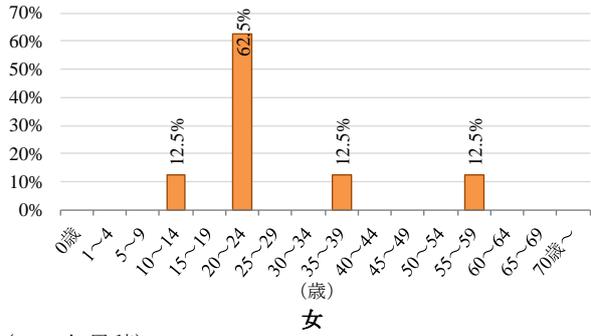
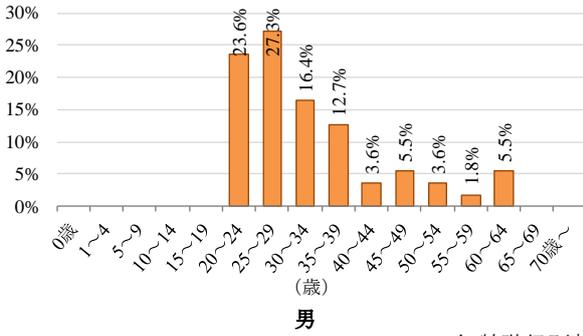


男 月別報告数 過去5年間の平均との比較

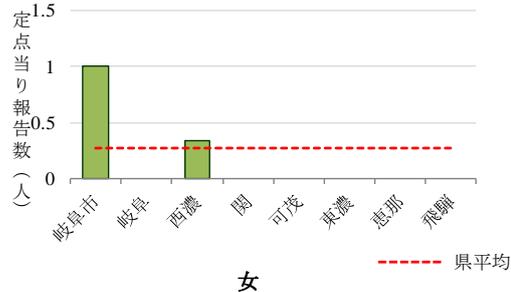
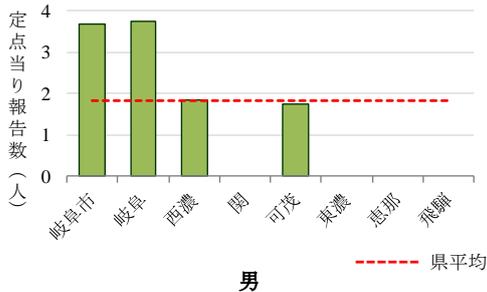
女



直近5年間の推移(全国との比較)



年齢階級別割合(2019年累積)



保健所別定点当たり報告数(2019年累積)

3 感染症法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症
2019 年、疑似症の報告はなかった。

集計表

表 1	全数把握対象感染症	年別患者報告数
表 2	〃	性・年齢階級別患者報告数
表 3	〃	保健所別患者報告数
表 4	定点把握対象感染症	週/月別患者報告数・定点当たり報告数
表 5	〃	年齢階級別患者報告数
表 6	〃	保健所別患者報告数
表 7	病原体検出状況	

表1 全数把握対象感染症 年別患者報告数

類型	疾患名	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
1類	エボラ出血熱	-	-	-	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-	-
	痘そう	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	-	-
	ペスト	-	-	-	-	-
	マールブルグ病	-	-	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-	-	-
2類	急性灰白髄炎	-	-	-	-	-
	結核	421	475	448	379	402
	ジフテリア	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	-	-
	中東呼吸器症候群	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ（H5N1）	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ（H7N9）	-	-	-	-	-
3類	コレラ	-	-	-	-	-
	細菌性赤痢	-	-	2	1	-
	腸管出血性大腸菌感染症	27	50	101	64	102
	腸チフス	1	1	1	5	-
	パラチフス	-	-	-	1	-
4類	E型肝炎	-	3	1	1	7
	ウエストナイル熱	-	-	-	-	-
	A型肝炎	-	1	3	4	10
	エキノコックス症	-	-	-	-	-
	黄熱	-	-	-	-	-
	オウム病	-	-	2	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	-	-
	回帰熱	-	-	-	-	-
	キャサナル森林病	-	-	-	-	-
	Q熱	-	-	-	-	-
	狂犬病	-	-	-	-	-
	コクシジオイデス症	-	-	-	-	-
	サル痘	-	-	-	-	-
	ジカウイルス感染症	-	-	-	-	-
	重症熱性血小板減少症候群	-	-	-	-	-
	腎症候性出血熱	-	-	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	-	-
	炭疽	-	-	-	-	-
	チクングニア熱	-	-	-	-	-
	つつが虫病	16	27	9	13	12
	デング熱	6	3	2	5	6
	東部ウマ脳炎	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ（H5N1を除く）	-	-	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	-	-	-
	日本脳炎	-	-	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	-	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	-	-
	ボツリヌス症	-	1	-	-	-
	マラリア	1	1	-	-	-
	野兔病	-	-	-	-	-
	ライム病	-	-	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	-	-
類鼻疽	-	-	-	-	-	
レジオネラ症	26	38	33	47	55	
レプトスピラ症	-	-	-	-	-	
ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-	-	

表1 (続き) 全数把握対象感染症 年別患者報告数

類型	疾患名	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
5類	アメーバ赤痢	16	14	14	23	15
	ウイルス性肝炎	3	1	4	2	-
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	8	9	13	19	23
	急性弛緩性麻痺	-	-	-	13	1
	急性脳炎	-	-	6	8	5
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	1	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	5	2	4	-	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	6	7	11	19
	後天性免疫不全症候群	23	26	12	23	14
	ジアルジア症	-	-	-	3	3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5	3	8	8	7
	侵襲性髄膜炎菌感染症	3	3	-	-	2
	侵襲性肺炎球菌感染症	43	47	33	44	59
	水痘 (入院例に限る)	7	6	4	7	10
	先天性風しん症候群	-	-	-	-	-
	梅毒	18	33	69	77	77
	播種性クリプトコックス症	4	4	1	4	1
	破傷風	1	-	2	2	5
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	1	-	-	-
百日咳	-	-	-	92	194	
風しん	1	3	1	10	3	
麻疹	1	-	-	1	8	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-	-	-	

表2 全数把握対象感染症 性・年齢階級別患者報告数 -2019年- (報告のあった疾患)
(男女計)

類型	疾患名	総数	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90歳~
2類	結核	402	10	3	4	3	4	34	20	32	28	32	83	118	31
3類	腸管出血性大腸菌感染症	102	1	43	10	2	6	9	14	6	3	2	3	3	-
4類	E型肝炎	7	-	-	-	-	-	1	-	1	3	-	1	1	-
	A型肝炎	10	-	-	-	-	-	1	1	-	2	3	2	1	-
	つつが虫病	12	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	5	2	-
	デング熱	6	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-	-
	レジオネラ症	55	-	-	-	-	-	1	-	1	6	9	15	19	4
5類	アメーバ赤痢	15	-	-	-	-	-	1	3	5	4	-	1	1	-
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	23	-	-	-	-	-	1	-	1	1	5	12	3	-
	急性弛緩性麻痺	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	急性脳炎	5	1	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	19	-	-	-	-	-	-	1	2	3	1	6	6	-
	後天性免疫不全症候群	14	-	-	-	-	-	1	4	8	1	-	-	-	-
	ジアルジア症	3	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	2	2	-
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	59	2	5	-	-	-	-	3	2	7	12	16	11	1
	水痘(入院例)	10	-	-	-	-	2	3	2	1	-	-	1	-	1
	梅毒	77	1	-	-	-	4	26	17	16	7	2	3	1	-
	播種性クリプトコックス症	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	破傷風	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-
	百日咳	194	9	7	70	68	9	4	11	6	4	4	1	1	-
風しん	3	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	
麻疹	8	-	-	-	-	1	4	1	-	1	1	-	-	-	

表2 (続き) 全数把握対象感染症性・年齢階級別患者報告数 -2019年- (報告のあった疾患)
(男性)

類型	疾患名	総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90歳～
2類	結核	226	4	1	1	3	3	20	12	8	11	19	59	65	20
3類	腸管出血性大腸菌感染症	46	-	27	3	-	2	2	4	3	1	1	3	-	-
4類	E型肝炎	6	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1	1	-
	A型肝炎	7	-	-	-	-	-	1	1	-	2	1	2	-	-
	つつが虫病	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	1	-
	デング熱	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	レジオネラ症	43	-	-	-	-	-	1	-	1	5	7	12	16	1
5類	アメーバ赤痢	13	-	-	-	-	-	1	1	5	4	-	1	1	-
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	16	-	-	-	-	-	1	-	-	1	4	7	3	-
	急性弛緩性麻痺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	急性脳炎	4	-	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12	-	-	-	-	-	-	1	2	3	1	3	2	-
	後天性免疫不全症候群	14	-	-	-	-	-	1	4	8	1	-	-	-	-
	ジアルジア症	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	41	1	3	-	-	-	-	3	2	6	8	12	6	-
	水痘(入院例)	4	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	1
	梅毒	48	-	-	-	-	-	11	14	12	7	1	3	-	-
	播種性クリプトコックス症	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	破傷風	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-
	百日咳	87	3	3	34	32	5	1	6	-	2	1	-	-	-
	風しん	3	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-
麻しん	5	-	-	-	-	-	1	1	1	-	1	1	-	-	

(女性)

類型	疾患名	総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90歳～
2類	結核	176	6	2	3	-	1	14	8	24	17	13	24	53	11
3類	腸管出血性大腸菌感染症	56	1	16	7	2	4	7	10	3	2	1	-	3	-
4類	E型肝炎	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	A型肝炎	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-
	つつが虫病	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	1	-
	デング熱	4	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-
	レジオネラ症	12	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3	3	3
5類	アメーバ赤痢	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	5	-	-
	急性弛緩性麻痺	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	急性脳炎	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	4	-
	後天性免疫不全症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ジアルジア症	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	1	-
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	18	1	2	-	-	-	-	-	-	1	4	4	5	1
	水痘(入院例)	6	-	-	-	-	2	2	1	1	-	-	-	-	-
	梅毒	29	1	-	-	-	4	15	3	4	-	1	-	1	-
	播種性クリプトコックス症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破傷風	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	百日咳	107	6	4	36	36	4	3	5	6	2	3	1	1	-
	風しん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻しん	3	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	

表3 全数把握対象感染症 保健所別患者報告数 -2019年- (報告のあった疾患)

類型	疾患名	総数	岐阜市	岐阜	西濃	関	可茂	東濃	恵那	飛騨
2類	結核	402	117	78	58	32	42	42	11	22
3類	腸管出血性大腸菌感染症	102	9	4	20	1	35	11	4	18
4類	E型肝炎	7	6	-	1	-	-	-	-	-
	A型肝炎	10	6	-	2	1	-	-	1	-
	つつが虫病	12	2	3	1	4	2	-	-	-
	デング熱	6	2	2	-	-	-	1	1	-
	レジオネラ症	55	13	13	11	3	1	6	3	5
5類	アメーバ赤痢	15	5	2	2	-	2	3	-	1
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	23	8	3	1	2	2	6	-	1
	急性弛緩性麻痺	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	急性脳炎	5	2	-	1	-	-	2	-	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	1	-	-	-	-	1	-	-
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	19	7	5	3	1	-	3	-	-
	後天性免疫不全症候群	14	8	3	1	-	-	2	-	-
	ジアルジア症	3	2	-	-	-	1	-	-	-
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7	3	3	-	-	1	-	-	-
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2	1	-	1	-	-	-	-	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	59	24	1	18	2	4	4	4	2
	水痘(入院例)	10	7	-	-	-	1	2	-	-
	梅毒	77	37	9	9	2	5	6	3	6
	播種性クリプトコックス症	1	-	-	1	-	-	-	-	-
	破傷風	5	2	-	-	-	1	1	-	1
	百日咳	194	21	27	4	38	13	3	18	70
風しん	3	2	1	-	-	-	-	-	-	
麻しん	8	3	4	-	-	-	1	-	-	

表4-1 定点把握対象感染症 週別患者報告数・定点当たり報告数 -2019年- (インフルエンザ定点・小児科定点)

インフルエンザ定点					小児科定点								
週	期間	インフルエンザ			定点数	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎	
		報告数	定点当	定点数		報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
1	1/1~1/7	86	4,224	49.12	52	5	0.10	13	0.25	10	0.19	120	2.31
2	1/8~1/14	87	4,756	54.67	53	7	0.13	27	0.51	33	0.62	193	3.64
3	1/15~1/21	87	5,403	62.10	53	18	0.34	15	0.28	58	1.09	183	3.45
4	1/22~1/28	87	3,736	42.94	53	31	0.58	18	0.34	65	1.23	146	2.75
5	1/29~2/4	87	2,398	27.56	53	9	0.17	6	0.11	53	1.00	140	2.64
6	2/5~2/11	87	1,388	15.95	53	10	0.19	12	0.23	53	1.00	130	2.45
7	2/12~2/18	87	764	8.78	53	10	0.19	7	0.13	43	0.81	113	2.13
8	2/19~2/25	87	557	6.40	53	10	0.19	21	0.40	73	1.38	141	2.66
9	2/26~3/4	87	401	4.61	53	9	0.17	10	0.19	63	1.19	144	2.72
10	3/5~3/11	87	251	2.89	53	5	0.09	23	0.43	46	0.87	163	3.08
11	3/12~3/18	87	162	1.86	53	22	0.42	14	0.26	70	1.32	184	3.47
12	3/19~3/25	87	166	1.91	53	17	0.32	16	0.30	68	1.28	153	2.89
13	3/26~4/1	87	84	0.97	53	24	0.45	13	0.25	50	0.94	143	2.70
14	4/2~4/8	86	91	1.06	53	10	0.19	11	0.21	39	0.74	134	2.53
15	4/9~4/15	86	146	1.70	53	20	0.38	11	0.21	53	1.00	155	2.92
16	4/16~4/22	86	151	1.76	53	20	0.38	11	0.21	64	1.21	228	4.30
17	4/23~4/29	86	120	1.40	52	12	0.23	9	0.17	56	1.08	227	4.37
18	4/30~5/6	82	128	1.56	50	4	0.08	14	0.28	29	0.58	113	2.26
19	5/7~5/13	86	90	1.05	53	3	0.06	22	0.42	34	0.64	181	3.42
20	5/14~5/20	86	118	1.37	53	12	0.23	18	0.34	83	1.57	223	4.21
21	5/21~5/27	86	108	1.26	53	14	0.26	24	0.45	55	1.04	226	4.26
22	5/28~6/3	87	113	1.30	53	7	0.13	25	0.47	63	1.19	244	4.60
23	6/4~6/10	87	86	0.99	53	4	0.08	28	0.53	68	1.28	250	4.72
24	6/11~6/17	87	43	0.49	53	3	0.06	20	0.38	56	1.06	204	3.85
25	6/18~6/24	87	17	0.20	53	3	0.06	23	0.43	72	1.36	199	3.75
26	6/25~7/1	87	30	0.34	53	6	0.11	32	0.60	53	1.00	167	3.15
27	7/2~7/8	87	22	0.25	53	5	0.09	28	0.53	46	0.87	157	2.96
28	7/9~7/15	87	7	0.08	53	8	0.15	21	0.40	46	0.87	134	2.53
29	7/16~7/22	87	6	0.07	53	11	0.21	16	0.30	31	0.58	107	2.02
30	7/23~7/29	87	2	0.02	53	15	0.28	10	0.19	46	0.87	113	2.13
31	7/30~8/5	87	4	0.05	53	29	0.55	31	0.58	34	0.64	115	2.17
32	8/6~8/12	83	3	0.04	52	55	1.06	19	0.37	36	0.69	135	2.60
33	8/13~8/19	84	4	0.05	50	46	0.92	4	0.08	22	0.44	51	1.02
34	8/20~8/26	87	4	0.05	53	44	0.83	12	0.23	26	0.49	107	2.02
35	8/27~9/2	87	2	0.02	53	67	1.26	13	0.25	44	0.83	115	2.17
36	9/3~9/9	87	17	0.20	53	112	2.11	21	0.40	42	0.79	89	1.68
37	9/10~9/16	86	23	0.27	53	110	2.08	16	0.30	39	0.74	99	1.87
38	9/17~9/23	87	11	0.13	53	133	2.51	17	0.32	38	0.72	82	1.55
39	9/24~9/30	87	20	0.23	53	99	1.87	14	0.26	28	0.53	84	1.58
40	10/1~10/7	87	14	0.16	53	86	1.62	21	0.40	38	0.72	101	1.91
41	10/8~10/14	87	19	0.22	53	92	1.74	10	0.19	40	0.75	116	2.19
42	10/15~10/21	87	23	0.26	53	64	1.21	9	0.17	30	0.57	95	1.79
43	10/22~10/28	87	19	0.22	53	50	0.94	9	0.17	39	0.74	109	2.06
44	10/29~11/4	87	23	0.26	53	42	0.79	16	0.30	41	0.77	105	1.98
45	11/5~11/11	87	60	0.69	53	30	0.57	5	0.09	29	0.55	102	1.92
46	11/12~11/18	87	145	1.67	53	26	0.49	11	0.21	45	0.85	144	2.72
47	11/19~11/25	87	203	2.33	53	17	0.32	18	0.34	42	0.79	136	2.57
48	11/26~12/2	87	264	3.03	53	18	0.34	9	0.17	45	0.85	173	3.26
49	12/3~12/9	87	455	5.23	53	17	0.32	17	0.32	59	1.11	137	2.58
50	12/10~12/16	87	776	8.92	53	11	0.21	23	0.43	41	0.77	205	3.87
51	12/17~12/23	87	1,444	16.60	53	15	0.28	23	0.43	60	1.13	265	5.00
52	12/24~12/30	87	1,559	17.92	53	14	0.26	22	0.42	58	1.09	300	5.66
総数		-	30,660	354.06	-	1,511	28.60	858	16.24	2,455	46.47	7,880	149.17
週平均		-	589.62	6.81	-	29.06	0.55	16.50	0.31	47.21	0.89	151.54	2.87

表4-2 定点把握対象感染症 週別患者報告数・定点当たり報告数 -2019年- (小児科定点)

小児科定点			水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
週	期間	定点数	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
1	1/1~1/7	52	13	0.25	1	0.02	7	0.13	7	0.13	-	-
2	1/8~1/14	53	12	0.23	1	0.02	18	0.34	10	0.19	1	0.02
3	1/15~1/21	53	2	0.04	2	0.04	18	0.34	15	0.28	-	-
4	1/22~1/28	53	4	0.08	1	0.02	11	0.21	14	0.26	1	0.02
5	1/29~2/4	53	6	0.11	10	0.19	20	0.38	11	0.21	1	0.02
6	2/5~2/11	53	1	0.02	3	0.06	8	0.15	6	0.11	-	-
7	2/12~2/18	53	4	0.08	2	0.04	7	0.13	10	0.19	1	0.02
8	2/19~2/25	53	5	0.09	5	0.09	2	0.04	17	0.32	-	-
9	2/26~3/4	53	2	0.04	3	0.06	4	0.08	12	0.23	-	-
10	3/5~3/11	53	7	0.13	2	0.04	5	0.09	13	0.25	-	-
11	3/12~3/18	53	5	0.09	-	-	9	0.17	19	0.36	-	-
12	3/19~3/25	53	10	0.19	2	0.04	11	0.21	8	0.15	-	-
13	3/26~4/1	53	7	0.13	4	0.08	18	0.34	18	0.34	2	0.04
14	4/2~4/8	53	10	0.19	1	0.02	9	0.17	19	0.36	1	0.02
15	4/9~4/15	53	14	0.26	2	0.04	13	0.25	12	0.23	1	0.02
16	4/16~4/22	53	10	0.19	2	0.04	32	0.60	25	0.47	-	-
17	4/23~4/29	52	12	0.23	-	-	35	0.67	19	0.37	1	0.02
18	4/30~5/6	50	7	0.14	1	0.02	6	0.12	6	0.12	-	-
19	5/7~5/13	53	31	0.58	4	0.08	16	0.30	17	0.32	2	0.04
20	5/14~5/20	53	8	0.15	6	0.11	28	0.53	26	0.49	3	0.06
21	5/21~5/27	53	16	0.30	9	0.17	23	0.43	11	0.21	2	0.04
22	5/28~6/3	53	10	0.19	11	0.21	42	0.79	19	0.36	1	0.02
23	6/4~6/10	53	10	0.19	22	0.42	26	0.49	17	0.32	5	0.09
24	6/11~6/17	53	6	0.11	39	0.74	24	0.45	18	0.34	12	0.23
25	6/18~6/24	53	12	0.23	80	1.51	52	0.98	12	0.23	22	0.42
26	6/25~7/1	53	10	0.19	150	2.83	25	0.47	12	0.23	36	0.68
27	7/2~7/8	53	6	0.11	428	8.08	31	0.58	14	0.26	89	1.68
28	7/9~7/15	53	6	0.11	645	12.17	37	0.70	17	0.32	94	1.77
29	7/16~7/22	53	13	0.25	702	13.25	46	0.87	19	0.36	95	1.79
30	7/23~7/29	53	8	0.15	725	13.68	40	0.75	16	0.30	97	1.83
31	7/30~8/5	53	10	0.19	494	9.32	36	0.68	17	0.32	87	1.64
32	8/6~8/12	52	5	0.10	270	5.19	30	0.58	18	0.35	69	1.33
33	8/13~8/19	50	9	0.18	84	1.68	9	0.18	8	0.16	31	0.62
34	8/20~8/26	53	3	0.06	71	1.34	32	0.60	18	0.34	31	0.58
35	8/27~9/2	53	4	0.08	109	2.06	43	0.81	11	0.21	40	0.75
36	9/3~9/9	53	3	0.06	89	1.68	36	0.68	7	0.13	34	0.64
37	9/10~9/16	53	7	0.13	65	1.23	40	0.75	14	0.26	22	0.42
38	9/17~9/23	53	3	0.06	90	1.70	29	0.55	14	0.26	16	0.30
39	9/24~9/30	53	3	0.06	63	1.19	26	0.49	9	0.17	15	0.28
40	10/1~10/7	53	3	0.06	65	1.23	31	0.58	13	0.25	10	0.19
41	10/8~10/14	53	4	0.08	60	1.13	36	0.68	17	0.32	14	0.26
42	10/15~10/21	53	3	0.06	48	0.91	32	0.60	10	0.19	8	0.15
43	10/22~10/28	53	6	0.11	39	0.74	28	0.53	11	0.21	8	0.15
44	10/29~11/4	53	2	0.04	47	0.89	24	0.45	14	0.26	10	0.19
45	11/5~11/11	53	9	0.17	54	1.02	33	0.62	15	0.28	7	0.13
46	11/12~11/18	53	4	0.08	41	0.77	20	0.38	17	0.32	11	0.21
47	11/19~11/25	53	8	0.15	61	1.15	26	0.49	17	0.32	1	0.02
48	11/26~12/2	53	8	0.15	58	1.09	21	0.40	16	0.30	2	0.04
49	12/3~12/9	53	15	0.28	38	0.72	30	0.57	13	0.25	3	0.06
50	12/10~12/16	53	6	0.11	47	0.89	26	0.49	11	0.21	1	0.02
51	12/17~12/23	53	7	0.13	25	0.47	26	0.49	10	0.19	1	0.02
52	12/24~12/30	53	7	0.13	26	0.49	28	0.53	11	0.21	1	0.02
総数		-	396	7.50	4,807	91.00	1,265	23.95	730	13.82	889	16.83
週平均		-	7.62	0.14	92.44	1.75	24.33	0.46	14.04	0.27	17.10	0.32

表4-3 定点把握対象感染症 週別患者報告数・定点当たり報告数 -2019年- (小児科定点・眼科定点)

小児科定点					眼科定点				
週	期間	定点数	流行性 耳下腺炎		定点数	急性出血性 結膜炎		流行性 角結膜炎	
			報告数	定点当		報告数	定点当	報告数	定点当
1	1/1~1/7	52	-	-	11	-	-	1	0.09
2	1/8~1/14	53	-	-	11	-	-	6	0.55
3	1/15~1/21	53	-	-	11	-	-	4	0.36
4	1/22~1/28	53	1	0.02	11	-	-	-	-
5	1/29~2/4	53	-	-	11	1	0.09	7	0.64
6	2/5~2/11	53	-	-	11	1	0.09	4	0.36
7	2/12~2/18	53	-	-	11	-	-	3	0.27
8	2/19~2/25	53	-	-	11	-	-	3	0.27
9	2/26~3/4	53	4	0.08	11	-	-	4	0.36
10	3/5~3/11	53	1	0.02	11	-	-	3	0.27
11	3/12~3/18	53	1	0.02	11	-	-	3	0.27
12	3/19~3/25	53	-	-	11	-	-	1	0.09
13	3/26~4/1	53	3	0.06	11	1	0.09	3	0.27
14	4/2~4/8	53	1	0.02	11	-	-	3	0.27
15	4/9~4/15	53	-	-	11	-	-	3	0.27
16	4/16~4/22	53	1	0.02	11	-	-	3	0.27
17	4/23~4/29	52	3	0.06	11	-	-	2	0.18
18	4/30~5/6	50	1	0.02	11	-	-	-	-
19	5/7~5/13	53	5	0.09	11	-	-	1	0.09
20	5/14~5/20	53	1	0.02	11	-	-	2	0.18
21	5/21~5/27	53	3	0.06	11	-	-	6	0.55
22	5/28~6/3	53	5	0.09	11	-	-	3	0.27
23	6/4~6/10	53	3	0.06	11	-	-	2	0.18
24	6/11~6/17	53	5	0.09	11	-	-	2	0.18
25	6/18~6/24	53	3	0.06	11	-	-	6	0.55
26	6/25~7/1	53	4	0.08	11	-	-	1	0.09
27	7/2~7/8	53	2	0.04	11	-	-	3	0.27
28	7/9~7/15	53	6	0.11	11	-	-	2	0.18
29	7/16~7/22	53	7	0.13	11	-	-	3	0.27
30	7/23~7/29	53	3	0.06	11	-	-	4	0.36
31	7/30~8/5	53	1	0.02	11	-	-	6	0.55
32	8/6~8/12	52	3	0.06	11	-	-	3	0.27
33	8/13~8/19	50	2	0.04	11	-	-	-	-
34	8/20~8/26	53	1	0.02	11	-	-	2	0.18
35	8/27~9/2	53	-	-	11	-	-	7	0.64
36	9/3~9/9	53	1	0.02	11	-	-	4	0.36
37	9/10~9/16	53	2	0.04	11	-	-	2	0.18
38	9/17~9/23	53	2	0.04	11	-	-	2	0.18
39	9/24~9/30	53	3	0.06	11	-	-	14	1.27
40	10/1~10/7	53	-	-	11	-	-	6	0.55
41	10/8~10/14	53	3	0.06	11	-	-	6	0.55
42	10/15~10/21	53	2	0.04	11	-	-	5	0.45
43	10/22~10/28	53	1	0.02	11	-	-	4	0.36
44	10/29~11/4	53	1	0.02	11	-	-	3	0.27
45	11/5~11/11	53	7	0.13	11	-	-	3	0.27
46	11/12~11/18	53	-	-	11	-	-	4	0.36
47	11/19~11/25	53	-	-	11	-	-	5	0.45
48	11/26~12/2	53	1	0.02	11	-	-	2	0.18
49	12/3~12/9	53	1	0.02	11	-	-	2	0.18
50	12/10~12/16	53	-	-	11	-	-	2	0.18
51	12/17~12/23	53	6	0.11	11	-	-	5	0.45
52	12/24~12/30	53	6	0.11	11	-	-	1	0.09
総数		-	106	2.01		3	0.27	176	16.00
週平均		-	2.04	0.04		0.06	0.01	3.38	0.31

表4-4 定点把握対象感染症 週別患者報告数・定点当たり報告数 -2019年- (基幹定点)

基幹定点 (週報)			細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	
週	期間	定点数	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
1	1/1~1/7	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-	-
2	1/8~1/14	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-	-
3	1/15~1/21	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-
4	1/22~1/28	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	1/29~2/4	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20
6	2/5~2/11	5	-	-	-	-	3	0.60	-	-	1	0.20
7	2/12~2/18	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	1	0.20
8	2/19~2/25	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20
9	2/26~3/4	5	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.80
10	3/5~3/11	5	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1.20
11	3/12~3/18	5	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.40
12	3/19~3/25	5	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1.00
13	3/26~4/1	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	4	0.80
14	4/2~4/8	5	-	-	-	-	-	-	-	-	8	1.60
15	4/9~4/15	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	8	1.60
16	4/16~4/22	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	9	1.80
17	4/23~4/29	5	-	-	-	-	-	-	-	-	10	2.00
18	4/30~5/6	5	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.60
19	5/7~5/13	5	-	-	-	-	-	-	-	-	11	2.20
20	5/14~5/20	5	-	-	-	-	-	-	1	0.20	12	2.40
21	5/21~5/27	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	9	1.80
22	5/28~6/3	5	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1.40
23	6/4~6/10	5	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1.20
24	6/11~6/17	5	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.60
25	6/18~6/24	5	-	-	1	0.20	-	-	-	-	2	0.40
26	6/25~7/1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27	7/2~7/8	5	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.40
28	7/9~7/15	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29	7/16~7/22	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	7/23~7/29	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-
31	7/30~8/5	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-
32	8/6~8/12	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-
33	8/13~8/19	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-
34	8/20~8/26	5	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-
35	8/27~9/2	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-
36	9/3~9/9	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-
37	9/10~9/16	5	-	-	-	-	4	0.80	-	-	-	-
38	9/17~9/23	5	-	-	-	-	4	0.80	-	-	-	-
39	9/24~9/30	5	-	-	1	0.20	3	0.60	-	-	-	-
40	10/1~10/7	5	-	-	-	-	5	1.00	-	-	1	0.20
41	10/8~10/14	5	-	-	-	-	3	0.60	-	-	-	-
42	10/15~10/21	5	-	-	-	-	3	0.60	-	-	-	-
43	10/22~10/28	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-	-
44	10/29~11/4	5	-	-	-	-	6	1.20	-	-	-	-
45	11/5~11/11	5	-	-	-	-	3	0.60	-	-	-	-
46	11/12~11/18	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-
47	11/19~11/25	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
48	11/26~12/2	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-
49	12/3~12/9	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	1	0.20
50	12/10~12/16	5	-	-	-	-	4	0.80	-	-	-	-
51	12/17~12/23	5	-	-	-	-	4	0.80	-	-	-	-
52	12/24~12/30	5	-	-	-	-	3	0.60	-	-	-	-
総数		-	0	0.00	3	0.60	73	14.60	1	0.20	117	23.40
週平均		-	-	0.00	0.06	0.01	1.40	0.28	0.02	0.00	2.25	0.45

表4-5 定点把握対象感染症 月別患者報告数・定点当たり報告数 -2019年- (基幹定点・性感染症定点)

基幹定点(月報)							
		メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症		薬剤耐性緑膿菌 感染症	
月	定点数	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
1	5	19	3.80	7	1.40	2	0.40
2	5	17	3.40	1	0.20	-	-
3	5	17	3.40	4	0.80	-	-
4	5	14	2.80	2	0.40	-	-
5	5	18	3.60	1	0.20	-	-
6	5	15	3.00	3	0.60	-	-
7	5	12	2.40	4	0.80	-	-
8	5	18	3.60	3	0.60	-	-
9	5	11	2.20	-	-	-	-
10	5	18	3.60	6	1.20	-	-
11	5	13	2.60	5	1.00	-	-
12	5	12	2.40	3	0.60	-	-
総数		184	36.80	39	7.80	2	0.40
月平均		15.33	3.07	3.25	0.65	0.17	0.03

性感染症定点													
		性器クラミジア感染症						性器ヘルペスウイルス感染症					
		男女計		男		女		男女計		男		女	
月	定点数	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
1	15	13	0.87	9	0.60	4	0.27	6	0.40	6	0.40	-	-
2	15	16	1.07	9	0.60	7	0.47	2	0.13	2	0.13	-	-
3	15	26	1.73	15	1.00	11	0.73	2	0.13	2	0.13	-	-
4	15	18	1.20	10	0.67	8	0.53	7	0.47	5	0.33	2	0.13
5	15	20	1.33	11	0.73	9	0.60	4	0.27	4	0.27	-	-
6	15	24	1.60	9	0.60	15	1.00	4	0.27	3	0.20	1	0.07
7	15	20	1.33	9	0.60	11	0.73	6	0.40	4	0.27	2	0.13
8	15	22	1.47	8	0.53	14	0.93	4	0.27	2	0.13	2	0.13
9	15	19	1.27	10	0.67	9	0.60	3	0.20	1	0.07	2	0.13
10	15	26	1.73	11	0.73	15	1.00	9	0.60	8	0.53	1	0.07
11	15	17	1.13	10	0.67	7	0.47	3	0.20	2	0.13	1	0.07
12	15	15	1.00	8	0.53	7	0.47	2	0.13	2	0.13	-	-
総数		236	15.73	119	7.93	117	7.80	52	3.47	41	2.73	11	0.73
月平均		19.67	1.31	9.92	0.66	9.75	0.65	4.33	0.29	3.42	0.23	0.92	0.06

性感染症定点													
		尖圭コンジローマ						淋菌感染症					
		男女計		男		女		男女計		男		女	
月	定点数	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
1	15	6	0.40	6	0.40	-	-	4	0.27	3	0.20	1	0.07
2	15	4	0.27	3	0.20	1	0.07	7	0.47	6	0.40	1	0.07
3	15	5	0.33	5	0.33	-	-	9	0.60	7	0.47	2	0.13
4	15	7	0.47	5	0.33	2	0.13	5	0.33	5	0.33	-	-
5	15	5	0.33	4	0.27	1	0.07	4	0.27	3	0.20	1	0.07
6	15	2	0.13	2	0.13	-	-	4	0.27	4	0.27	-	-
7	15	5	0.33	5	0.33	-	-	6	0.40	6	0.40	-	-
8	15	8	0.53	8	0.53	-	-	4	0.27	4	0.27	-	-
9	15	10	0.67	8	0.53	2	0.13	6	0.40	5	0.33	1	0.07
10	15	12	0.80	12	0.80	-	-	9	0.60	7	0.47	2	0.13
11	15	10	0.67	8	0.53	2	0.13	3	0.20	3	0.20	-	-
12	15	7	0.47	7	0.47	-	-	2	0.13	2	0.13	-	-
総数		81	5.40	73	4.87	8	0.53	63	4.20	55	3.67	8	0.53
月平均		6.75	0.45	6.08	0.41	0.67	0.04	5.25	0.35	4.58	0.31	0.67	0.04

表5-1 定点把握対象感染症 年齢階級別患者報告数・定点当たり報告数 -2019年- (インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点)

インフルエンザ定点	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	
インフルエンザ	30,660 352.88	142 1.63	236 2.72	699 8.05	767 8.83	932 10.73	1,104 12.71	1,173 13.50	1,213 13.96	1,212 13.95	1,097 12.63	985 11.34	3,849 44.30	1,570 18.07	2,545 29.29	2,899 33.37	2,850 32.80	2,205 25.38	1,855 21.35	1,622 18.67	1,705 19.62	
小児科定点	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～							
R S ウイルス感染症	1,511 28.58	371 7.02	253 4.79	507 9.59	240 4.54	95 1.80	28 0.53	9 0.17	3 0.06	1 0.02	- -	2 0.04	1 0.02	- -	1 0.02							
咽頭結膜熱	858 16.23	3 0.06	33 0.62	202 3.82	139 2.63	144 2.72	119 2.25	95 1.80	37 0.70	22 0.42	20 0.38	13 0.25	19 0.36	2 0.04	10 0.19							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2,455 46.44	1 0.02	7 0.13	83 1.57	175 3.31	267 5.05	396 7.49	423 8.00	317 6.00	236 4.46	164 3.10	120 2.27	188 3.56	19 0.36	59 1.12							
感染性胃腸炎	7,880 149.06	133 2.52	487 9.21	1,182 22.36	918 17.36	955 18.06	866 16.38	735 13.90	522 9.87	428 8.10	355 6.72	310 5.86	587 11.10	85 1.61	317 6.00							
水痘	396 7.49	5 0.09	9 0.17	36 0.68	17 0.32	23 0.44	34 0.64	38 0.72	41 0.78	54 1.02	48 0.91	36 0.68	53 1.00	1 0.02	1 0.02							
手足口病	4,807 90.93	74 1.40	351 6.64	1,414 26.75	1,037 19.62	731 13.83	478 9.04	335 6.34	137 2.59	78 1.48	49 0.93	35 0.66	48 0.91	6 0.11	34 0.64							
伝染性紅斑	1,265 23.93	1 0.02	19 0.36	61 1.15	102 1.93	165 3.12	226 4.28	202 3.82	170 3.22	94 1.78	62 1.17	59 1.12	- -	- -	12 0.23							
突発性発しん	730 13.81	8 0.15	265 5.01	350 6.62	75 1.42	19 0.36	10 0.19	2 0.04	- -	1 0.02	- -	- -	- -	- -	- -							
ヘルパンギーナ	889 16.82	4 0.08	56 1.06	222 4.20	169 3.20	136 2.57	109 2.06	77 1.46	33 0.62	28 0.53	14 0.26	13 0.25	18 0.34	6 0.11	4 0.08							
流行性耳下腺炎	106 2.01	3 0.06	1 0.02	3 0.06	4 0.08	19 0.36	14 0.26	10 0.19	12 0.23	15 0.28	5 0.09	5 0.09	14 0.26	1 0.02	- -							
眼科定点	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳～		
急性出血性結膜炎	3 0.27	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 0.09	2 0.18	- -	- -	- -	- -
流行性角結膜炎	176 16.00	1 0.09	3 0.27	6 0.55	7 0.64	7 0.64	8 0.73	- -	3 0.27	- -	3 0.27	1 0.09	9 0.82	2 0.18	15 1.36	31 2.82	20 1.82	20 1.82	20 1.82	20 1.82	20 1.82	20 1.82
基幹定点 (週報)	総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～					
細菌性髄膜炎	0 0.00	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
無菌性髄膜炎	3 0.60	- -	1 0.20	2 0.40	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
マイコプラズマ肺炎	73 14.60	- -	4 0.80	31 6.20	23 4.60	5 1.00	2 0.40	1 0.20	- -	2 0.40	2 0.40	- -	- -	- -	- -	- -	1 0.20	2 0.40	- -	- -	- -	- -
クラミジア肺炎	1 0.20	- -	- -	- -	1 0.20	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	117 23.40	11 2.20	71 14.20	26 5.20	2 0.40	- -	- -	1 0.20	2 0.40	- -	- -	- -	1 0.20	- -	3 0.60	- -						

※ 上段：報告数、下段：定点当り報告数

表5-2 定点把握対象感染症 年齢階級別患者報告数・定点当たり報告数 -2019年- (基幹定点・性感染症定点)

基幹定点 (月報)	総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	184 36.80	4 0.80	5 1.00	3 0.60	1 0.20	1 0.20	5 1.00	4 0.80	2 0.40	- -	6 1.20	5 1.00	8 1.60	6 1.20	8 1.60	14 2.80	112 22.40
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	39 7.80	3 0.60	6 1.20	1 0.20	- -	- -	- -	- -	1 0.20	1 0.20	- -	- -	1 0.20	- -	- -	1 0.20	25 5.00
薬剤耐性緑膿菌感染症	2 0.40	- -	2 0.40														

性感染症定点		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
性器クラミジア感染症	男女計	236 15.73	- -	- -	- -	- -	17 1.13	72 4.80	49 3.27	45 3.00	25 1.67	19 1.27	3 0.20	3 0.20	2 0.13	1 0.07	- -	- -
	男	119 7.93	- -	- -	- -	- -	6 0.40	30 2.00	25 1.67	21 1.40	16 1.07	13 0.87	2 0.13	3 0.20	2 0.13	1 0.07	- -	- -
	女	117 7.80	- -	- -	- -	- -	11 0.73	42 2.80	24 1.60	24 1.60	9 0.60	6 0.40	1 0.07	- -	- -	- -	- -	- -
性器ヘルペスウイルス感染症	男女計	52 3.47	- -	- -	- -	- -	- -	6 0.40	17 1.13	10 0.67	10 0.67	2 0.13	2 0.13	1 0.07	3 0.20	- -	1 0.07	- -
	男	41 2.73	- -	- -	- -	- -	- -	4 0.27	13 0.87	6 0.40	10 0.67	2 0.13	2 0.13	1 0.07	2 0.13	- -	1 0.07	- -
	女	11 0.73	- -	- -	- -	- -	- -	2 0.13	4 0.27	4 0.27	- -	- -	- -	1 0.07	- -	- -	- -	- -
尖圭コンジローマ	男女計	81 5.40	- -	- -	- -	- -	2 0.13	9 0.60	15 1.00	16 1.07	12 0.80	17 1.13	4 0.27	4 0.27	1 0.07	- -	1 0.07	- -
	男	73 4.87	- -	- -	- -	- -	2 0.13	5 0.33	15 1.00	15 1.00	10 0.67	16 1.07	4 0.27	4 0.27	1 0.07	- -	1 0.07	- -
	女	8 0.53	- -	- -	- -	- -	- -	4 0.27	- -	1 0.07	2 0.13	1 0.07	- -	- -	- -	- -	- -	- -
淋菌感染症	男女計	63 4.20	- -	- -	- -	1 0.07	- -	18 1.20	15 1.00	9 0.60	8 0.53	2 0.13	3 0.20	2 0.13	2 0.13	3 0.20	- -	- -
	男	55 3.67	- -	- -	- -	- -	- -	13 0.87	15 1.00	9 0.60	7 0.47	2 0.13	3 0.20	2 0.13	1 0.07	3 0.20	- -	- -
	女	8 0.53	- -	- -	- -	1 0.07	- -	5 0.33	- -	- -	1 0.07	- -	- -	- -	1 0.07	- -	- -	- -

※ 上段：報告数、下段：定点当り報告数

表6-1 定点把握対象感染症 保健所別患者報告数・定点当たり報告数 -2019年-
(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点)

定点種別	疾患名	総数	保健所							
			岐阜市	岐阜	西濃	関	可茂	東濃	恵那	飛騨
インフルエンザ	インフルエンザ	30,660	6,526	6,031	4,674	3,550	2,171	3,020	1,582	3,106
		354.06	466.78	356.78	312.40	452.45	271.38	379.32	227.88	310.60
小児科	R S ウイルス感染症	1,511	473	377	241	63	171	96	29	61
		28.60	52.56	37.85	26.95	12.60	34.20	19.27	7.36	10.17
	咽頭結膜熱	858	168	264	107	17	55	34	205	8
		16.24	18.67	26.50	11.97	3.40	11.00	6.83	52.00	1.33
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2,455	429	864	213	160	149	167	144	329
		46.47	47.67	86.73	23.82	32.00	29.80	33.53	36.53	54.83
	感染性胃腸炎	7,880	1,837	1,678	1,862	765	440	694	557	47
		149.17	204.11	168.45	208.22	153.00	88.00	139.34	141.29	7.83
	水痘	396	59	91	41	44	35	70	19	37
		7.50	6.56	9.14	4.58	8.80	7.00	14.05	4.82	6.17
	手足口病	4,807	1,087	1,391	767	371	224	276	369	322
91.00		120.78	139.64	85.77	74.20	44.80	55.41	93.60	53.67	
伝染性紅斑	1,265	192	380	146	127	70	112	121	117	
	23.95	21.33	38.15	16.33	25.40	14.00	22.49	30.69	19.50	
突発性発しん	730	170	210	196	18	25	20	40	51	
	13.82	18.89	21.08	21.92	3.60	5.00	4.02	10.15	8.50	
ヘルパンギーナ	889	191	133	106	86	3	93	72	205	
	16.83	21.22	13.35	11.85	17.20	0.60	18.67	18.26	34.17	
流行性耳下腺炎	106	21	16	27	4	8	7	4	19	
	2.01	2.33	1.61	3.02	0.80	1.60	1.41	1.01	3.17	
眼科	急性出血性結膜炎	3	1	-	-	-	-	-	2	
		0.27	0.50	-	-	-	-	-	2.00	
流行性角結膜炎	176	47	3	55	-	48	1	9	13	
	16.00	23.50	1.50	18.33	-	48.00	1.00	9.00	13.00	

定点種別	疾患名	総数	圏域				
			岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨
基幹 (週報)	細菌性髄膜炎	0	-	-	-	-	-
		0.00	-	-	-	-	
	無菌性髄膜炎	3	-	2	1	-	-
		0.60	-	2.00	1.00	-	-
	マイコプラズマ肺炎	73	4	34	5	9	21
14.60		4.00	34.00	5.00	9.00	21.00	
クラミジア肺炎	1	-	-	1	-	-	
	0.20	-	-	1.00	-	-	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	117	5	38	-	30	44	
	23.40	5.00	38.00	-	30.00	44.00	

※ 上段：報告数、下段：定点当たり報告数

表6-2 定点把握対象感染症 保健所別患者報告数・定点当たり報告数 -2019年-(基幹定点・性感染症定点)

定点種別	疾患名	総数	圏域				
			岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨
基幹 (月報)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	184 36.80	35 35.00	41 41.00	45 45.00	41 41.00	22 22.00
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	39 7.80	- -	5 5.00	25 25.00	- -	9 9.00
	薬剤耐性緑膿菌感染症	2 0.40	- -	- -	- -	2 2.00	- -

定点種別	疾患名	総数	保健所								
			岐阜市	岐阜	西濃	関	可茂	東濃	恵那	飛騨	
性感染症	性器クラミジア感染症	男女計	236 15.73	96 32.00	72 36.00	32 10.67	11 11.00	17 8.50	- -	5 5.00	3 3.00
		男	119 7.93	38 12.67	54 27.00	15 5.00	- -	9 4.50	- -	1 1.00	2 2.00
		女	117 7.80	58 19.33	18 9.00	17 5.67	11 11.00	8 4.00	- -	4 4.00	1 1.00
	性器ヘルペスウイルス感染症	男女計	52 3.47	10 3.33	28 14.00	3 1.00	- -	3 1.50	2 1.00	- -	6 6.00
		男	41 2.73	9 3.00	23 11.50	1 0.33	- -	1 0.50	1 0.50	- -	6 6.00
		女	11 0.73	1 0.33	5 2.50	2 0.67	- -	2 1.00	1 0.50	- -	- -
	尖圭コンジローマ	男女計	81 5.40	9 3.00	37 18.50	21 7.00	- -	4 2.00	5 2.50	- -	5 5.00
		男	73 4.87	9 3.00	37 18.50	16 5.33	- -	2 1.00	5 2.50	- -	4 4.00
		女	8 0.53	- -	- -	5 1.67	- -	2 1.00	- -	- -	1 1.00
	淋菌感染症	男女計	63 4.20	28 9.33	15 7.50	13 4.33	- -	7 3.50	- -	- -	- -
		男	55 3.67	22 7.33	15 7.50	11 3.67	- -	7 3.50	- -	- -	- -
		女	8 0.53	6 2.00	- -	2 0.67	- -	- -	- -	- -	- -

※ 上段：報告数、下段：定点当たり報告数

表7 病原体検出状況 -2019年-

(定点把握対象疾患)

臨床診断名 (疑いを含む)	検出病原体 (遺伝子検出を含む)	検体採取月												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
インフルエンザ	検査症例数	48	21	8	7	4	4			1	3	17	18	131
	インフルエンザウイルス AH1pdm09	18	5	2						1	3	14	16	59
	インフルエンザウイルス AH3	29	16	4	4									53
	インフルエンザウイルス B型	1		2	3	4	4							14
	不検出											3	2	5
RSウイルス感染症	検査症例数	1	2					2	1	5	1		1	13
	RSウイルス	1	1					1	1	5	1		1	11
	ヒトメタニューモウイルス		1											1
	不検出							1						1
咽頭結膜熱	検査症例数	2	3	3	1	3	3	3	3		1	1	2	25
	アデノウイルス1型		1			1							1	3
	アデノウイルス2型	1		1		2	2		2					8
	アデノウイルス3型	1	1	2	1		1	3	1		1	1	1	13
	アデノウイルス4型		1											1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎*1	検査症例数	3	6	3	2	3	5	1	1	1	3	2	3	33
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1型	1	2		1	2	3							9
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T4型		1						1				1	3
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T6型			1										1
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T11型						1				1			2
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T12型						1			1	2			4
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T14/49型					1								1
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T25型		1		1									2
	<i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264型	1	1									1	1	4
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T型別不能	1	1	1							1	1	1	6
不検出			1				1						2	
感染性胃腸炎*2	検査症例数	4	4	4	2	3	1	2	2		3		1	26
	ノロウイルスGII	2	1	1	1	1							1	7
	A群ロタウイルスG8型				1	2	1							4
	A群ロタウイルスG9型		1											1
	アデノウイルス3型		1											1
	アデノウイルス31型		1											1
	アデノウイルス41型							1						1
	アストロウイルス1型			1										1
	パレコウイルス4型										1			1
	ライノウイルス					1								1
	サルモネラO9群								1					1
	不検出	2	2	2					1	1	2			10
	水痘	検査症例数			1	1								1
水痘・帯状疱疹ウイルス				1	1								1	3
手足口病*3	検査症例数			2		1	1	8	4	4	5	3	2	30
	コクサッキーウイルスA6型					1		8	2					11
	コクサッキーウイルスA16型							1	3	4	3	2		13
	エンテロウイルス71型			1							1			2
	ライノウイルス							2		1	1	1	1	6
不検出			1			1		1	1				4	
伝染性紅斑	検査症例数				1		1					1		3
	パルボウイルスB19				1		1					1		3
突発性発しん	検査症例数	1		1	1	1						2	1	7
	ヒトヘルペスウイルス6型	1												1
	不検出			1	1	1						2	1	6
ヘルパンギーナ*4	検査症例数							3	1	1		2	1	8
	コクサッキーウイルスA5型											2	1	3
	コクサッキーウイルスA6型							3						3
	コクサッキーウイルスA16型									1				1
	ライノウイルス							2						2
不検出									1				1	
流行性耳下腺炎	検査症例数				1		1			1				3
	不検出				1		1			1				3

*1 重複検出1例を含む(*Streptococcus pyogenes* T11型とT12型)。

*2 重複検出2例を含む(A群ロタウイルスG9型とアデノウイルス3型とノロウイルスGII、A群ロタウイルスG8型とライノウイルス)。

*3 重複検出5例を含む。(コクサッキーウイルスA6型とライノウイルス:2例、コクサッキーウイルスA16型とライノウイルス:4例)。

*4 重複検出2例を含む(コクサッキーウイルスA6型とライノウイルス:2例)。

表7(続き) 病原体検出状況 -2019年-

(定点把握対象疾患)

臨床診断名 (疑いを含む)	検出病原体 (遺伝子検出を含む)	検体採取月												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
流行性角結膜炎	検査症例数								1	3			1	5
	アデノウイルス53型									2			1	3
	アデノウイルス54型							1	1					2
無菌性髄膜炎*5	検査症例数						1	1		1	1		4	
	サイトメガロウイルス							1					1	
	パレコウウイルス1型							1					1	
	不検出						1			1	1		3	

*5 重複検出1例を含む(サイトメガロウイルスとパレコウウイルス1型:1例)。

(全数把握対象疾患)

臨床診断名 (疑いを含む)	検出病原体 (遺伝子検出を含む)	検体採取月												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
中東呼吸器症候群	検査症例数					1								1
	不検出					1								1
コレラ	検査症例数								2					2
	不検出								2					2
腸管出血性大腸菌感染症*6	検査症例数	20			3	6	38	18	8	2	2	2	99	
	<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT1&2	18			1		2	1					22	
	<i>Escherichia coli</i> O157:H- VT1&2	1							1				2	
	<i>Escherichia coli</i> O157:HUT VT1&2							2					2	
	<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT2					1	1		1	2	2	2	9	
	<i>Escherichia coli</i> O145:H- VT2						1	2	6				9	
	<i>Escherichia coli</i> O145:HUT VT2						1						1	
	<i>Escherichia coli</i> O145:H-VT不検出								1				1	
	<i>Escherichia coli</i> O111:H- VT1&2					2							2	
	<i>Escherichia coli</i> O121:H19 VT2				1								1	
	<i>Escherichia coli</i> O103:H2 VT1				1								1	
	<i>Escherichia coli</i> O103:H11 VT1					2							2	
	<i>Escherichia coli</i> O103:H- VT1								1				1	
	<i>Escherichia coli</i> O103:HUT VT1								1				1	
	<i>Escherichia coli</i> O26:H11 VT1							1	9				10	
	<i>Escherichia coli</i> O69:H11 VT1						1						1	
	<i>Escherichia coli</i> O18:HNT VT不検出	1											1	
<i>Escherichia coli</i> OUT:H2 VT2							32					32		
<i>Escherichia coli</i> OUT:H- VT1								1				1		
E型肝炎	検査症例数		1		1		3					1	6	
	E型肝炎ウイルス(遺伝子型3f)						3					1	4	
	不検出		1		1								2	
A型肝炎	検査症例数			1	1	2	1		1			1	7	
	A型肝炎ウイルス(遺伝子型IA)			1	1	2	1		1				6	
	不検出											1	1	
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	検査症例数							1	1		1		3	
	不検出							1	1		1		3	
つつが虫病	検査症例数							1					1	
	不検出							1					1	
デング熱	検査症例数							4	2			2	8	
	デングウイルス1型								1				1	
	デングウイルス2型								1				1	
	デングウイルス3型							1					1	
	不検出							3			2		5	
日本紅斑熱	検査症例数							1					1	
	不検出							1					1	
レジオネラ症	検査症例数	1				1	1	1					4	
	<i>Legionella pneumophila</i> SG1					1	1						2	
	不検出	1						1					2	

*6 7月の32例は同一集団事例であり、うち7例は国立感染症研究所にてO186と確認。

表7(続き) 病原体検出状況 -2019年-

(全数把握対象疾患)

臨床診断名 (疑いを含む)	検出病原体 (遺伝子検出を含む)	検体採取月												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	検査症例数	2	1	2	5	1	2	3	1	2	1	2	1	23
	<i>Enterobacter cloacae</i> (IMP-1型メタロ-β-ラクタマーゼ産生性)		1											1
	<i>Enterobacter asburiae</i> (IMP-1型メタロ-β-ラクタマーゼ産生性)			1	1									2
	<i>Citrobacter freundii</i> (IMP-1型メタロ-β-ラクタマーゼ産生性)				1									1
	<i>Escherichia coli</i> (NDM型メタロ-β-ラクタマーゼ産生性)								1					1
	<i>Enterobacter cloacae</i> (NDM型カルバペネマーゼ産生性)							1			1			2
	<i>Enterobacter cloacae</i> (カルバペネマーゼ産生性)タイプ不明									1				1
	<i>Enterobacter cloacae</i> (カルバペネマーゼ非産生)	1						1						2
	<i>Enterobacter asburiae</i> (カルバペネマーゼ非産生)			1										1
	<i>Klebsiella aerogenes</i> (カルバペネマーゼ非産生)				2	1	1			1		1	1	7
	<i>Klebsiella pneumoniae</i> (カルバペネマーゼ非産生)				1			1						2
	<i>Escherichia coli</i> (カルバペネマーゼ非産生)	1												1
	<i>Serratia marcescens</i> (カルバペネマーゼ非産生性)						1							1
	<i>Morganella morganii</i> (カルバペネマーゼ非産生性)											1		1
急性弛緩性麻痺	検査症例数 アデノウイルス5型							1					1	
								1					1	
急性脳炎	検査症例数 インフルエンザウイルスAH1pdm09 アデノウイルス3型 不検出	1									2		3	
											1		1	
		1										1	1	
											1		1	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	検査症例数 <i>Streptococcus pyogenes</i> T1型 <i>Streptococcus pyogenes</i> T12型 <i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>			1	1	2			2	1	1		8	
				1		2			1				4	
											1		1	
					1				1	1			3	
侵襲性髄膜炎菌感染症	検査症例数 <i>Neisseria meningitidis</i> 血清群Y								1				1	
									1				1	
侵襲性肺炎球菌感染症	検査症例数 <i>Streptococcus pneumoniae</i> 血清型20 <i>Streptococcus pneumoniae</i> 血清型22F							1			1		2	
								1					1	
											1		1	
百日咳	検査症例数 不検出		1						1				2	
			1						1				2	
風しん	検査症例数 不検出		1	1	3		1		2				8	
			1	1	3		1		2				8	
麻疹	検査症例数 麻疹ウイルス 風疹ウイルス 不検出	21	2	1	1	3	2	1	3	2	2	1	39	
		5											5	
						2							2	
		16	2	1	1	1	2	1	3	2	2	1	32	

(その他の疾患)

臨床診断名 (疑いを含む)	検出病原体 (遺伝子検出を含む)	検体採取月												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
急性肺炎	検査症例数 アデノウイルス2型	1												1
		1												1
上気道炎	検査症例数 不検出					1								1
						1								1
心筋炎	検査症例数 ライノウイルス RSウイルス ヒトパレコウイルス6型 不検出	1			1				1		1		4	
					1								1	
									1				1	
		1									1		1	
その他	検査症例数 ヒトメタニューモウイルス ライノウイルス 不検出		2		1		1						4	
			1										1	
							1						1	
			1		1								2	

岐阜県感染症発生動向調査年報 2019 年（令和元年）
2021 年 3 月発行

岐阜県保健環境研究所
疫学情報部 感染症情報センター

〒504-0838 各務原市那加不動丘 1 丁目 1 番地

TEL 058-380-2100（代） FAX 058-371-5016

E-mail c22614@pref.gifu.lg.jp

HP <http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>